

支出項目

政務活動費

研修・会議費

No.1

6 月	年度 日	内容	支出額 (円)	累計額 (円)
5	11~ 12	全国学童保育連絡協議会合宿研究会	45,080	45,080
7	10~ 11	全国地方議会サミット2024	20,480	65,560
10	9~10	第19回全国市議会議長会研究フォーラム 「人口減少社会における未来図」	236,720	302,280
11	14	トップランナーに学ぶ受賞事例研修会	11,340	313,620
2	7~8	ローカルマニフェスト推進連盟湘南勉強会in茅ヶ崎	6,000	319,620
		研修・会議費合計	319,620	

政務活動報告書

令和7年3月14日

茅ヶ崎市議会議長

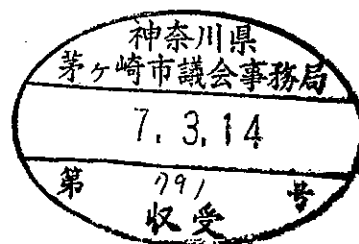
岸 正明 様

(会派名) ちがさき自民クラブ

(氏 名) 岡崎 進

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和6年5月11日 (ハッシュタグ岡山) 令和6年5月12日 (ハッシュタグ岡山)
目 的 地 (研 修 地)	全国学童保育連絡協議会合宿研究会
政務活動の結果 (別紙のとおり)	



令和 6年8月10日

茅ヶ崎市議会議長
岸 正明 様

ちがさき自民クラブ
氏 名 岡崎 進

全国学童保育連絡協議会主催の第52回全国合宿研究会
テーマ「いま、生活づくりを確かめる 専任・常勤・複数体制および正規職員配備の必要性」
に参加しましたので報告致します。

1、令和6年5月11日12日の2日間
岡山県岡山市、ハッシュタグ岡山にて

2、全国連協からの合宿研修の趣旨確認、提起

学童保育が生まれた頃、制度もなく、先行する保育実践がないなかで、私たちは子どもたちのことを語りあい、自分たちの言葉で、実践を語りあってきました。そして、全国連協は、子ども・指導員・保護者がともに行う「子ども一人ひとりと、子どもたちの生活内容を豊かにするための継続的な営み」を、「生活づくり」と呼んで大切にしてきました。

私たちが運動のなかでつくってきた学童保育は、児童福祉と子どもの権利の理念をもつ児童福祉法に位置づけられ、国や自治体の基準にもとづいて、補助金も含めた行政の関与のもとで運営されています。学童保育は、子どもたちの声を聴きながら、当事者である保護者・指導員の願いや思いを国や自治体に届け、国や自治体が徐々に施策の拡充を図ってきた側面はあるものの、たびたび揺り戻しが起こります。だからこそ、一人ひとりが声を上げつづけていくことと、学童保育連絡協議会という組織と取り組みが必要。

3. 学童保育の「生活づくり」とは
労働等の理由により保護者が昼間家庭にいない小学生の「生活の場」を保証するという学童保育の本来の目的・役割を具体的に果たすことですが、学童保育の発足期からの中身や背景の確認、指導と支援の在り方もその時々で変わってきた。
子どもたちの生活を支え、保護者とともに育ててきた状況から、保育園



の延長的に預かることがメインになってしまった都市部と今まで通り疑似家族的な 6 年生までを預かる地域とは、あり方も違ってしまっている現状がある。

私自身も、茅ヶ崎市の学童保育連絡協議会から、率先して協議会から統一して NPO ちがさき学童保育の会を初代理事長として創ってから、約 20 年経ち、自分の子供がお世話になり、指導員の在り方を考えていた時期と、現在のすでに施設もあり指導員の保証も昔より良くなった現在とではあり方が変わったのはうなずけました。

記録・実践記録・実践検討の取り組みによる、指導員の力量形成と質の向上としては、様々な話を聞き、意見を交わし、知見をもとに自らの保育実践を行う際に、複数の仮説を立てながら、子どもと向き合うことを大事にしてきた。

指導員が、子どもの行動、言葉、感情の動きに加え、かかわった事実、指導員の感じたことなど日々のかかわり(保育の実践)と様子を記録し、振り返り続けることは、子どもの理解を深め、子どもとのかかわりに見通しを持つことに繋がる。でも時には指導員がその時々々の場面に応じた適切な判断と対応が求められるが、子どものためによかれと思って対応したことでも、逆に子どもを追い詰めたり傷つけたりすることも起こりえる。

4. 実践を語る

各地の取り組みを聞かせて頂き、論点が 3 つという考え方があったり、保護者とのかかわり、子どもとのかかわり保護者会があって、でも子ども同士のかかわりもあるし、やはり、現場でのいろいろな苦労や努力そしてそれによって変わっていく子どもとの関係、いろいろな親子関係があり、保護者会でのやり取りや行事を通して、親も育っていったり、子育てを手伝いながら、指導員も成長していく。



5. まとめ

国の補助金は年々“拡充”するものの、私たちが要望したのとは異なる方向性ですすんでいることもあります。保育、介護等の福祉が、利用契約の原理でサービス化され、学童保育もその渦のなかに取り込まれようとしています。時代の変化に伴って、変化させなければならないことと、変化させてはいけない大切なものがあると思います。

この間、報道等では、こども家庭庁が所管する「学童保育(放課後児童クラブ)」と対比するかたちで、ビジネスとして、企業や個人が開設・運営する「民間の学童保育」という言葉が使われています。ビジネスとして、法的根拠を持たず、児童福祉の理念にもとづかない(=国や自治体が定める基準や運営指針にもとづかない)「民間の学童保育(預かりサービス)」については、さまざまな懸念があります。

所感:

今回の研修を受け、今の茅ヶ崎の学童保育の状況は、民間と NPO が指定管理を行うとともに、民設の学童を併用していますが、保育園の増加に比べ、民設学童を増設しても、まだ全然足らず、2 年生までは入れるものの、今年は知り合いの方のお子さんが、一か月とはいえ相模線を使って、学童に通っていたという事実も聞いており、全国的に考えるとやはり、都市部と地方部であり方が違ってしまっているように思え、本来の学童のいい部分を残して、都市部でも 4 年生ぐらいまでは通える体制を作る努力が必要と考えさせられました。



会場・交流会案内 : 岡山県学童保育連絡協議会

全国連協合宿研

来たれ！岡山に 取り戻せ！リアル

2024年5月11日(土)～12日(日)

ハッシュタグ岡山

〒700-0962 岡山市北区北長瀬表町二丁目17番80号BRANCH岡山北長瀬 JR北長瀬駅から徒歩3分



In 岡山

JR山陽本線
北長瀬駅徒歩3分

交流会

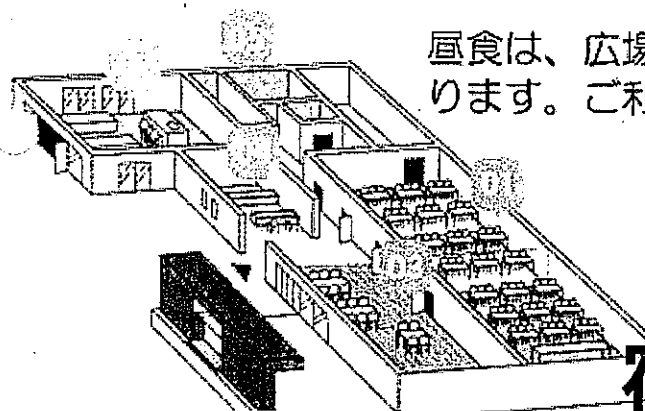
会場の目の前

自分で食材をカスタマイズ する"世界にひとつだけのピッツァ"

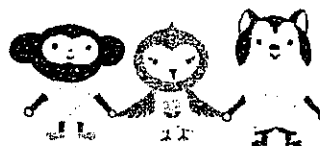
ピッツァ専門店
SUNNY

SUNNY
PIZZA

ブランチ岡山北長瀬
PIZZA



昼食は、広場に飲食店があります。ご利用ください。



宿泊案内



桃太郎(岡山)空港からは、倉敷駅・岡山駅へ

北長瀬駅まで

12分240円

7分200円

5分190円

新倉敷

倉敷

中庄

北長瀬

岡山

倉敷市民会館

分科会依頼大学

合宿研

会場
交流会

ぜひ、岡山にお越しください。

宿泊は、岡山、倉敷、どちらでも大丈夫です。

交流会も準備していますので、ご予約ください。

2024 年 5 月全国合宿研究会について

2024 年 4 月 13-14 日
全国学童保育連絡協議会

全国学童保育連絡協議会（以下、全国連協）は、学童保育をめぐるさまざまな課題のなかで、とりわけ重要な課題について研究・学習するために、毎年、全国研究集会の開催地において 1 泊 2 日で全国合宿研究会を開催してきました。2024 年 5 月に開催する全国合宿研究会は、「いま、生活づくりを確かめる——専任・常勤・複数体制および正規職員配置の必要性」をテーマに開催します。

〔2 日間を通して皆さんとともにたしかめたいこと〕

学童保育が生まれた頃、制度もなく、先行する保育実践がないなかで、私たちは子どもたちのことを語りあい、自分たちの言葉で、実践を語りあってきました。そして、全国連協は、子ども・指導員・保護者がともに行う「子ども一人ひとりと、子どもたちの生活内容を豊かにするため」の継続的な営みを、「生活づくり」と呼んで大切にしてきました。私たちが運動のなかでつくってきた学童保育は、児童福祉と子どもの権利の理念をもつ児童福祉法に位置づけられ、国や自治体の基準にもとづいて、補助金も含めた行政の関与のもとで運営されています。

学童保育は、子どもたちの声を聴きながら、当事者である保護者・指導員の願いや思いを国や自治体に届け、国や自治体が徐々に施策の拡充を図ってきた側面はあるものの、たびたび揺り戻しが起こります。だからこそ、一人ひとりが声を上げつづけていくことと、学童保育連絡協議会という組織と取り組みが必要です。

この 2 日間では、指導員が日頃の実践と実践上の悩みや疑問を出しあい、そのなかから実践上の課題を語ることからはじめ、常勤職員の複数配置が実現することで、子どもや学童保育の生活がどのように豊かになるのか、保育の質を上げるとはどのようなことなのかについて、皆さんと考え、確かめあいます。

1. 全国連協から合宿研の趣旨確認、提起
2. 学童保育の「生活づくり」とは
3. 実践を語る
4. 交流：生活づくりを語りあう
5. 議論：いま、生活づくりを確かめる
6. 議論：専任・常勤・複数体制および正規職員配置の必要性を考える
7. まとめ

〔提案の背景とこの間の動向、全国的に課題になっていること〕

国の補助金は年々“拡充”するものの、私たちが要望したのとは異なる方向性ですすんでいることもあります。

保育、介護等の福祉が、利用契約の原理でサービス化され、学童保育もその渦のなかに取り込まれようとしています。民間企業参入等でさらにそのスピードは増し、保護者と指導員や運営者

は、サービスの受給者と供給者という関係性になりつつあるのではないのでしょうか？ 国、地方自治体は待機児童の解消にのみ全力を傾け、学童保育の集団規模やそもそもの生活がないがしろにされてはいないのでしょうか？ 時代の変化に伴って、変化させなければならないことと、変化させてはいけない大切なものがあると思います。

この間、報道等では、こども家庭庁が所管する「学童保育（放課後児童クラブ）」と対比するかたちで、ビジネスとして、企業や個人が開設・運営する「民間の学童保育」という言葉が使われています。ビジネスとして、法的根拠を持たず、児童福祉の理念にもとづかない（＝国や自治体が定める基準や運営指針にもとづかない）「民間の学童保育（預かりサービス）」については、さまざまな懸念があります。

こども家庭庁の調査では、2023年5月1日現在の登録児童数は前年比66,226人増でした。この調査では、はじめて10月1日時点の実施状況（速報値）も調べており、58,000人が年度途中で退所していることがわかりました。この結果を「放課後児童クラブは年度前半に利用ニーズが高い」と解釈したこども家庭庁は、「年度前半や夏季休業中のみの放課後児童クラブの開所支援のあり方を検討する」としています。「令和6年度子ども・子育て支援調査研究事業」の調査研究課題のひとつに、「小学校の長期休業中におけるこどもの居場所に関する調査研究」が挙げられています。5月1日時点および10月1日時点の実施状況を継続して調査することは評価できるものの、その先の議論・施策の方向性は危惧するところです。

上記の3点は、学童保育をめぐるこの間の動向、全国的に課題になっていることの一端でしかありません。年間をとおして、あるいは小学1年生から6年生までをとおして、生活の連続性・継続性を守ることが大切であるはずの学童保育において、「学童保育事業に対する理解のなさ」「子ども理解の浅さ」「資質・力量不足」が、日々の保育に大きく影響を与えていないのでしょうか。ともすれば、2、3年生でも利用を継続できないところもあり、そのなかでの生活づくり、よりよい学童保育を…となり得るのでしょうか。あらためて、この機会に皆さんと考えあいます。

[具体的な進め方]

2024年5月11日（土）

【司会：

13：30 全国連協から合宿研の趣旨確認、提起（40分）

14：10 学童保育の「生活づくり」とは（30分）

14：40 質疑応答 15分

（休憩 10分）

15：05 実践を語る（10分×3）

・（神奈川県横浜市・指導員）

・（岩手県滝沢市・指導員）

・（石川県津幡町・指導員）

77 15:35 課題整理 [REDACTED] (30分)

78 (休憩 15分)

80 16:20 交流：生活づくりを語りあう (120分)

- 81 ・子ども理解の視点と安心できる関係づくり
- 82 ・学童保育の生活の見通しと流れ
- 83 ・学童保育の生活とあそび
- 84 ・子どもたちの生活を伝え、保護者とともに育てる
- 85 ・高学年にとっての学童保育
- 86 ・学童保育の生活づくりと食
- 87 ・障害のある子どもにとっての学童保育
- 88 ・学童保育の「安全」を考える
- 89 ・子ども理解と心のケア
- 90 …など、さまざまな場面から
- 91 ・日々、子どもとの関わりについて(実践上の問題として)感じていること、考えていることは何
- 92 ですか。それは、どういう状況や言動、場面の時に感じますか。
- 93 ・日々、保護者との関わりについて(実践上の問題として)感じていること、考えていることは
- 94 何ですか。どういう状況と言動、場面の時に感じますか。
- 95 ・指導員として皆さんが大切にしていること、支えになっていること、やりがいは何ですか？

97 18:20 中間整理 (10分) [REDACTED]

99 2024年5月12日(日)

100 9:00 ふりかえり (10分) [REDACTED]

102 9:10 議論：いま、生活づくりを確かめる (75分)

- 103 ・現場の状況をふまえ、生活づくり・実践上で大切にしたい視点は何か

105 (休憩 10分)

107 10:25 議論：専任・常勤・複数体制および正規職員配置の必要性を考える (75分)

- 108 ・専門性を持った常勤職員が複数配置されることで保育の質のなにが変わるのか

110 (休憩 10分)

112 11:50 まとめ (10分) [REDACTED]

114 12:00 終了

第 52 回全国合宿研究会 テーマ「いま、生活づくりを確かめる ——専任・常勤・複数体制および正規職員配置の必要性」

2025 年 5 月 11-12 日

全国学童保育連絡協議会

2024 年 5 月 11 日（土）13 時 30 分から 12 日（日）12 時まで

於：ハッシュタグ岡山（岡山市）

◇学童保育の役割、生活づくりと指導員の仕事

◆指導員の仕事は、「労働等の理由により保護者が昼間家庭にいない小学生の『生活の場』を保障する」という学童保育の本来の目的・役割を、具体的に果たすことです。

全国学童保育連絡協議会（以下、全国連協）は、子ども・指導員・保護者がともに行う「子ども一人ひとりと、子どもたちの生活内容を豊かにするための継続的な営み」を、「生活づくり」と呼んで大切にしています。そして、上記の生活づくりを進めるうえで指導員の担う仕事を、提言「学童保育の保育指針（案）」（2003 年 6 月に提言、2012 年 12 月に改訂）でつぎのように整理しています。

(1) 学童保育の保育内容はつぎの通りとする。

- ① 子どもの安全・健康・衛生を確保すること
- ② 子どもの安定した生活を保障すること
- ③ 遊びやその他の活動・行事などの豊かな生活を保障すること
- ④ おやつを提供すること
- ⑤ 施設外保育に努めること
- ⑥ 外出・地域との交流に努めること

(2) 家庭との連絡・協力を図る

(3) 関係機関との連携を図る

今年 2024 年は、子どもの権利条約が日本で批准されてから 30 年。私たちは、子どもの権利条約の一般原則とされている「生命、生存及び発達に関する権利」「子どもの最善の利益」「子どもの意見の尊重」「差別の禁止」を大切にしてよりよい学童保育づくりをつづけてきました。

◆子どもや保護者に直接かかわるほかにも、子ども理解を深めるために、「保育内容の記録」「保育の打ちあわせ」「保育計画（見通し）の作成とふり返し、まとめ」「情報共有の会議や、保育内容に関する事例検討」「関係機関や地域との連携・協力」など、多岐にわたる仕事を連携・協力しながら取り組んでいます。学校や保育所などは業務に応じた職員が配置されていますが、学童保育では、施設の維持・管理、おやつの買い出しや物品の購入、それに伴う金銭管理、諸帳簿の作成など、学童保育を円滑に運営するための実務を指導員がすべて担っている現場も多くあります。

出張旅費計算書

適 用	全国連協合宿研に参加するため 岡山県岡山市北区北長瀬表町 二丁目17番80号BRANCH岡 山北長瀬			会 派	ちがさき自民クラブ		
期 間	令和6年5月11日 から 令和6年5月12日 まで 2日		出張者 氏 名	岡崎 進			
経 路		日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額(円)
茅ヶ崎 — 小田原 JR東海道本線		1	1	25.3	510	—	510
小田原 — 名古屋 JR新幹線ひかり				282.1	10,010	6,450	16,460
名古屋 — 岡山 JR新幹線のぞみ				366.9			
岡山 — 北長瀬 JR山陽本線				3.4	190	—	190
北長瀬 — 岡山 JR山陽本線				3.4	190		190
岡山 — 北長瀬 JR山陽本線		1	1	3.4	190	—	190
北長瀬 — 岡山 JR山陽本線				3.4	190		190
岡山 — 名古屋 JR新幹線のぞみ				366.9	10,010	6,450	16,460
名古屋 — 小田原 JR新幹線ひかり				282.1			
小田原 — 茅ヶ崎 JR東海道本線						25.3	510
計		2	1	1362.2	21,800	12,900	34,700
	日 数			単 価(円)		金 額(円)	
日 当	2日			2,400		4,800	
宿泊料(朝食付)	1日			3,580		3,580	
夕食代	1日			2,000		2,000	
研修参加費	1日			0		0	
合 計	¥45,080 × 1 人					¥45,080	

宿泊先 三井ガーデンホテル岡山(1泊朝食付き)
 宿泊料金(新幹線代含む):36,500円(税込み)



領 収 書 番 号 : 00LCNL9U
表 示 日 時 : 2024/05/07 16:17

領 収 書 (RECEIPT)

宛名 (RECEIVED FROM)

ちがさき自民クラブ 岡崎進様

領収金額 (THE SUM)

¥36,500-

取引内容 (IN PAYMENT)

新幹線+宿泊代金として (税込み10%)

(For Shinkansen charge and accommodation fee) (10% including tax)

領収日 (DATE OF RECEIPT)

2024/05/07

ご出発日 (DEPARTURE DATE)

2024/05/11

お問合せ番号 (APPLICATION NUMBER)

[REDACTED]

お支払方法 (PAYMENT METHOD)

クレジットカード
(CREDIT CARD)

旅行代金 (TRAVEL CHARGE)

¥36,500-

内訳 (DETAILS)

クレジットカード
(CREDIT CARD)

¥36,500-

EXポイント
(EX POINTS)

クーポン
(COUPON)

補助金
(SUBSIDY)

株式会社日本旅行
Nippon Travel Agency CO., Ltd.
登録番号 (T1010401023408)

政務活動報告書

令和7年3月10日

茅ヶ崎市議会議長

岸 正明 様

(会派名) ちがさき自民クラブ

(氏 名) 岡崎 進

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和6年7月10日（早稲田大学井深大記念ホール） 令和6年7月11日（早稲田大学井深大記念ホール）
目 的 地 (研 修 地)	全国地方議会サミット2024（早稲田大学＆オンライン）

政務活動の結果（別紙のとおり）



令和 7年3月10日

茅ヶ崎市議会議長
岸 正明 様

ちがさき自民クラブ
氏 名 岡崎 進

令和6年7月10日から11日までの2日間、全国地方議会サミット2024(早稲田大学&オンライン)非常事態への備え これからの議会~に参加しましたので、次のとおり報告します。

▼基調講演

*「生活を支える強い地域を議会がつくる」

北川正恭 早稲田大学名誉教授、元三重県知事

災害時に起こった問題点について、集まるところがないから専決処分を許していたのでは、極端な言い方をすれば、議会はいらないと言っているようです。

集まらないときは、どうしたらよいかと主体的に考え、行動していくのが議会の役割、集まればオンラインでというように先進的な取り組みを考え、国や総務省に一生懸命陳情して、オンライン議会が始まりました。この議会から災害対策をどう考えるのか、ってことを考えたのが今回の研修です。

実際に災害が起こった時に執行部優先で物事を運ぶ習慣で、一番邪魔になるのが議会になりますが、議長を中心に事務局も含めチーム議会全体で災害対応をどうするかを議論して、どうしていくかを決定できる議会となってもらえようをお願いしたい。

住民の声を十分聴き、オンラインも存分に使いながら、執行部に任せる。防災会議には、法律上議会には執行権はないので、住民の意見を聞いた議会が防災会議をどう対応するかを考えて頂きたい

行政側が取れない情報を取り上げ、もらった情報で行政側が助かったというようなウインウインの関係を作してほしい..

復興等に関しては特に、議会全体として議論をし、執行部の皆さんとも徹底的に話し合い将来に備えるということが理解できる 2 日間にして欲しい。そして合言葉 TPP 徹底的に良いことをパクってください。地方議会から地方を変え、地方から国を変え国が変わって、我々の子、孫にいい日本を残せるよう頑張りましょう。

▼能登半島地震被災地の議会からの報告

輪島市議会議員・元議長椿原正洋氏、

地震の怖さは、わずか60秒の間で命が長く培われてきた、財産を一瞬にして失うこと。そして人生設計も狂わせてしまい本当に怖いもの。

夜には500m以上先で火災の煙の確認もできた。そして

航空自衛隊基地が近くになったので、翌日の午後 2 時から物資の緊急搬送があった。

①災害等の状況(6月27日現在)

項目	内容
1 人的被害	死者130名(内、災害関連死28名)、安否不明3名、負傷者513名
2 建物被害	損壊27,889件(全戸数約30,000件/93.0%被災)
3 朝市焼失被害	焼失面積50,800㎡・284棟(減失登記で解体を進める)
4 避難者数	現在21か所/391名(発災直後13,641名)
5 二次避難等	15次/1,080人→18人、2次/3,162人→722人(370か所)
6 長期避難認定	2年以上/5地域・62世帯
7 孤立集落	24か所/3,300名以上(2週間以上)、地形的要因が大
8 人口動向	R5.4.1「23,575人」→R6.6.1「21,669人」(減少率8.08%)
9 児童生徒数	小学生699人→403人(▲296人/42.3%) 中学生401人→286人(▲115人/28.68%)
10 ライフライン	発災直後は、電気、上下水道、情報通信は全域不通
11 応急仮設住宅	建設申請2,800件で、現在、35団地/2,110件完成。8月下旬完成
12 公費解体申請	現在7,654件。予測として8,000件以上
13 廃棄物処理量	廃棄物全体で151万トン(通常/輪島市0.7万トン)
14 被害予想額	未確定。震災関連予算861億円超(平年200億円/4倍超)

被災は、1 階が押しつぶされたところが多く、まさに生き地獄であった。現状、65%が避難しており、人口流出が1900人を超えている状況。朝市の火災では、約280件が消失した。多くのところで耐震化が高齢化もあり、進んでおらず、1 階が押しつぶされたという意見。半島という地形もあり、陸路は幹線道路の

崩壊。海路は海岸隆起。空路はヘリのみ離着陸可、能登で、孤立集落解消や救援物資運搬が遅れました。通信不可、緊急支援物資が届かない。まさに、陸の孤島状態でした。

発災時の自身の被害状況と他の議員の被災状況は、自宅が準半壊(妻の実家は全壊、親せき宅は大規模半壊)他の議員の状況は、行方不明と報道されたり、孤立し身動きが取れなかった。

能登半島地震を経験したことで、議会活動の課題や改善について

- ① 今回の地震規模は、政府が支援本部ではなく、対策本部を立ち上げて対応すべき事案。
- ② 発災直後～3 日間、1 週間、4 週間、1 か月単位での支援策が必要。
- ③ 「命を守ることから生活すること」への変化、支援が停滞しないように、順次体制を整える。

4. 発災時から3月の予算議会までの議会活動

月 日	内 容 等
1月17日	議員間による情報交換(各地域の被災情報等)
2月 5日	会派代表者会議(議会日程短縮と質問者1人)、議会運営委員会、全員協議会
27日	全員協議会(3月議会議案内示、専決処分と当初予算、災害情報交換など)
3月 5日	本会議開会、全員協議会(議案等提示、災害情報交換など)
6日	議会運営委員会(議会日程等)
9日	全国市議会議長会の会長さんからお見舞い(正副議長が対応)
11日	本会議(代表及び一般質問/殆ど、震災関連質問)
12日	総務文教及び産業厚生委員会(令和6年度予算及び3月補正予算審議等)
13日	予算決算委員会(総務文教・産業厚生)
15日	議会運営委員会、全員協議会、本会議(最終日)
16日	「令和6年能登半島地震復興対策連絡会議」設置(情報共有と国等へ要望活動)
21日	松村防災担当大臣との意見交換会(市長・議長)
21日	全員協議会(能登半島地震における勉強会/講師：宮城大学 阿部晃成特任助教)

6. 今後、被災地へどのような支援が必要か。

- ① 輪島に住み続け、輪島に人が戻ってこられるような施策が必要です。
 - ・この町に永く住み続けるには、震災前よりもよりよい輪島創りが必要です。
 - ・輪島に戻ってきたいが、家も仕事もなくなった。
- ② 生活と生業の復旧・復興速度を早める。
 - ・自宅再建と生業支援が、復興の入口であります。マンパワー不足があります。
- ③ 支援対象外の改正を求める(市民目線とお役所目線を改める)
 - 1) 家屋等の罹災判定が準半壊以下への支援(半壊の壁を取り除く)
 - 準半壊の家屋等は、殆どの支援が受けられない。
 - 10万円の生活資金、仮設住宅入居できない。
 - 2) なりわい支援制度の不備については是正が必要。(大規模半壊以上との格差等)
 - 3) 「長期避難世帯」の認定が縦割り行政で遅くなる。

輪島市地域防災計画は、982 ページもあるものが地震津波についてはありますが、議会と議員という文字がなく、そこには議会と議員が全くかわらずに作った証だと思う。今後は議会、議員の災害対応についても記載して行動支援を明確に明示すべきと考えている。復興予算を審議しなければいけないが、震災

需要だからなんでも許すというのは、だめだと思います。

珠洲市議会・議長番匠雅典氏、

発災当初の避難所数と避難者数

1月8日	7,361人	70カ所 ・指定避難所 13カ所 ・自主避難所 57カ所
6月28日	339人	25カ所 ・指定避難所 13カ所 ・自主避難所 12カ所

当初、津波があり、隆起もあったため、船がつけられない等の部分もあり、支援物資等は最終的にヘリによる運搬ととなったが、自主避難所の多くあったため、最初は避難所を探しながら、物資を届けてもらった。

大きな建物が小中学校しかないため、そこに身を寄せたが、水も電気も来ないということで、県の指導で2次避難ということで、金沢

に2万円で避難した、今も230名避難している。

水道は市長から提案がありましたが、電力はこのままでは復旧ができないと、北陸電力で移動電力車を避難所を中心に配備してもらった。しかし自主避難所では電機が来ないということから、小型発電機などを使っていたが、ガソリンスタンドも営業していないことから、大変な負担をしいて過ごさせてしまった。ガソリンスタンドは1月5日より営業再開ということでしたが、数量限定で長蛇の列になりましたが、すぐ売り切れになってしまった。

携帯電話も繋がらないところもあったので、全員の安否確認ができたのは、5日ごろだった。

1月26日に全員協議会を開催し、行政から被害状況を説明を受けた。2月19日に石川県市議会議長会と能登町議会議長連絡協議会と早期の復旧等、過疎地域における手厚い支援をお願いに行った。3月議会

発災後の議会活動の状況

1月26日	議員全員協議会（市内の被害状況、支援制度等について）
2月19日	石川県市議会議長会、奥能登町議会議長連絡協議会による中央要望を実施
3月5日	議員全員協議会（令和6年度当初予算について）
3月11日～3月19日	令和6年第1回珠洲市議会3月定例会 ※日程を短縮（9日間）して開催
5月9日	議員全員協議会（珠洲市復興計画基本方針について）
5月23日	石川県市議会議長会による中央要望を実施
6月18日～7月3日	令和6年第2回珠洲市議会6月定例会 ※通常の会期（16日間）で開催
その他：国務大臣や知事、全国市議会議長会会長と面会（議長） 議長会総会等に出席、支援への感謝と継続を訴えた（議長） 富城岡南三陸町長と意見交換会を実施（議員全員）	

は、一般質問も人数を絞って、復旧状況のみということで行った。

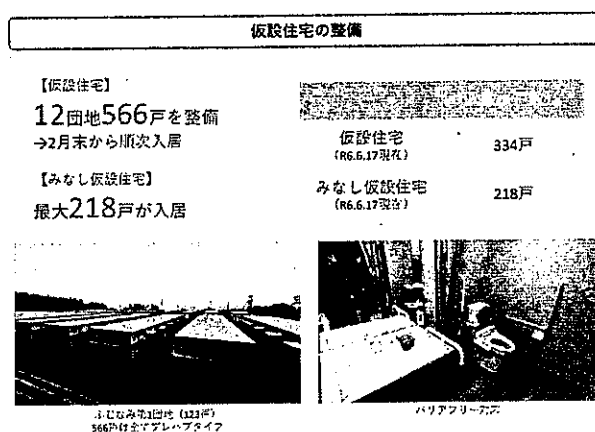
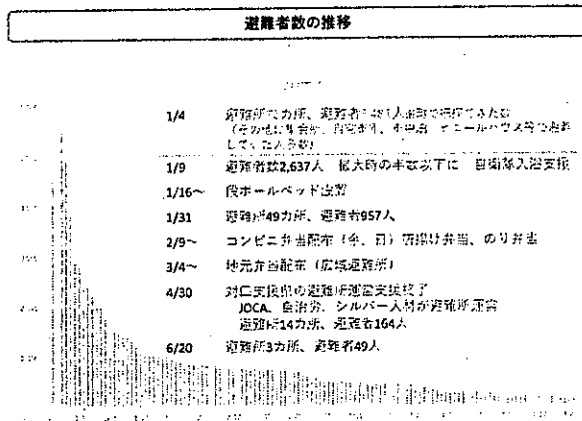
議会への情報がおりにてこなかったため、議会としての情報共有ができなかった。

デジタル化は、取り組んではいたものの、まだついていけない方もいらっしゃる、電波も届かないところもあったことも含め、情報共有も難しかった。

行政側は、地区の区長会長を含めて復興計画策定会議設置しましたが、その決定事項についての報告はあると思うが、復興計画にどう議会がかかわっていくかという問題もあり、新たに推進復興対策特別委員会設置して、情報収集と考えを反映できるようになればと考えている。

今の問題は、人口流出の問題、みなし仮設、金沢の方で、アパートや公営住宅に住まれている方、1.5や2次避難でそこまでは把握できているものの、親せき縁者、お子様のところに避難されている方は把握ができていない状況が続いている。なんとか仮設での生活をされている方もいますが、半数の方が、自宅を離れて生活をしているので、地域コミュニティが崩壊している状態です。

やはり地域コミュニティの復活が一番だと、先日もお祭りが行われたが、地域コミュニティを復活させるためには、地域に残った人だけでは難しいと思う。



▼熊本地震の経験と自治体間支援の現場から

熊本市長 大西一史氏

熊本の復興は、熊本城の復旧に、10年後、20年後、28年後と段階を経ながら完全復旧に出来るよう、励ましあいながら頑張っている。

東日本大震災の時は、翌日が九州新幹線の全線開業日だったけど、県議時代に知事に進言してまで、中止してもらった。全国市長会の防災副会長をやっていた。

熊本地震は当時の地域防災計画では、約75,000人が避難想定となっていたが、実際には11万に避難をした。900ページ近い地域防災計画でしたが、想定している数字通りではなくもっと大きな数字としてとらえていた方が、何かあった時に対応しやすいと思った。実際、全戸断水32万世帯、水がないと大変だけど、飲み水は何とか自衛隊が持ってきてくれるでしょうけど、トイレが一番困る。2日目のトイレは地獄でした。1週間分ぐらいないとだめですね。

熊本は半島でないから方々から入ってこれるはずですが、新幹線も脱線して止まっていた。高@@@備えをしているかで変わります。熊本地震からプッシュ型ということで物資が来ましたが、集積場所に100台車が連なって、12時間待ちってことで、荷捌きのマンパワーがない。物資の洪水と言われていた。1日1日欲しいものが変わってくる。

水も飲み水は1週間分あれば、生活用水の方が必要になる。食料だって毎日乾パン食べているわけにはいかない。地域防災計画を超えて物事が起こるので、しっかりと議会で質問して頂いて、本当に足りるの、と議論をした方がよい。熊本城には5,000人くらいの観光客が来ているので、昼間の時間であれば相当の方が犠牲になったかもしれない。道路の段差10cm15cmの段差で車は通れなくなる。そこで通行止めになってしまいます。

熊本市から能登半島への支援は、キャンピングカー導入の支援、災害対応従事者への簡易ベットの提供、能登半島地震の被災者を対象に市営住宅を無償で提供、ふるさと納税災害支援代理寄付の受付、飲料水の支援等、

起こってすぐは、テレビ等も毎日扱ってどうにかしないと、と思ってくれるけど、6か月経つと皆さんの気持ちはどこかにいってしまう、行政としては中長期での派遣は、自分の自治体も動かさなければいけないので、短期で交代でやる、熊本は10日交代で公式解体の受付を6月末

で終わっちゃうと言われたけど、何とかならないか泉谷市長から言われ、なんとか9月まで継続するようにした。こういう時こそ助け合ってください。

▼防災 DX の最前線とこれからの展望

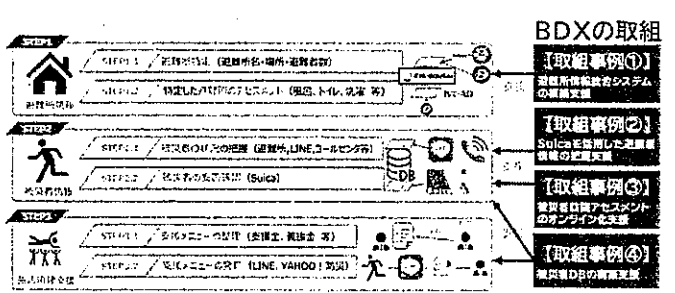
国立研究開発法人防災科学技術研究所・筑波大学 臼田裕一郎氏

災害対応の現場では、極限状態の中で、被害、復旧、要請等、様々な状況を迅速に把握し、的確に意思決定・行動することが求められる、そのために情報が不可欠。

防災クロスビューは、平常時は過去の記録や現在の観測、未来の災害リスク。災害時は発生状況、進行状況、復旧状況、関連する過去の災害、二次災害発生リスクなどの災害情報を重ね合わせて(クロスさせて)、災害の全体を見通し(view)、予防・対応・回復を通じて活用できるシステムを目指している。

2. 発災後の活動経緯
- 1/1 内規に基づき、20時に災害時情報共有会議を開催。以降、ほぼ毎日開催
 - 1/2 被災状況、県外自治体による支援状況、幹事団体所属各社の対応状況等を共有
 - 1/3 現地課題と会員のサービス等をマッチングさせるため、緊急アンケートを実施(～1/9)
 - 1/4 避難所・避難者の状況把握が困難な状況を踏まえ、避難所管理リソースの不足等の課題を確認
 - 1/5 KDDIと石川県の協力を得て、被災地で活動する組織・団体にスターリンクを10台投入
 - 1/6 スターリンクに対するさらなる要望を聞き10台を追加投入
 - 1/7 幹部現地入り開始。石川県関係部局等との意見交換。避難所情報管理の課題を具体的に確認
 - 1/8 石川県庁内に「BDX拠点」を設置。当協議会として避難所情報管理支援を行う方針を決定
 - 1/9 STEP1:避難所データ集約整理・統合的支援策を立案
 - 1/10 STEP1:避難所データの集約整理・統合的支援策に向けた環境整備支援作業を実施
 - 1/11 当協議会Webサイトに被災特設ページを追加。上記支援作業を継続実施
 - 1/12 STEP1:避難所データ集約・可視化アプリケーションの開発を完了
 - 1/13 STEP2及び3、中長期的観点で支援すべき課題・ニーズについて石川県と意見交換
 - 1/14 STEP1支援に一定の区切りがついたため、STEP2支援に向けた本格的検討・調整を開始
 - 1/15 STEP2:避難所情報管理に向け、県や市町に導入されているサービスの比較・検討を開始
 - 1/16 STEP2及び3の協議。必要となるシステムの仕様等について石川県と意見交換
 - 1/17 STEP2の支援内容について石川県等と協議・調整。当協議会としての対応方針を協議
 - 1/19 石川県のLINE公式アカウントから避難所外避難者のアンケートを開始
 - 1/23 STEP2の協議会活動に参画可能な会員を募集

被災者支援の3ステップ



①避難所情報統合システムの構築支援

②Suica を活用した避難者情報の把握支援

③被災者訪問アセスメントのオンライン化支援

④ 被災者データベースの構築支援

被災者データベースで表示される情報や県・市町による被災者データベースの活用事例など

▼東日本大震災の経験から 20240710 全国地方議会サミット 2024

大正大学地域構想研究所長 片山善博

自分の市には、トップがリーダーとしてちゃんとしているかどうか。いざというときにリーダーと一緒に災害対応してくれる幹部職員がいるか考えてみてください。いなければ大変です。

2 日目 2024 年 7 月 11 日 全国地方議会サミット 2024

▼非常事態への備えと議会の対応・役割

法政大学総長／自治体議会改革フォーラム 廣瀬 克哉氏

非常事態の時系列と議会に期待される役割 非常事態にはフェーズがある

- ・フェーズごとに必要な対応は変わっていく
- ・発災期(3日間程度)
- ・応急期(4日目～1週間程度)

- ・復旧期(1週間目から数ヶ月+ α)
 - ・個々の災害の態様に応じてその期間は変わり得る
 - ・それぞれの時期における議会の主な役割を整理する必要
 - ・発災期:情報収集機能
 - ・応急期:課題整理機能
 - ・復旧期:議論の場としての機能
- 行政の足を引っ張らない かつ 行政に丸投げしない
 非常時の自治体の中に議論の場を開いておく
- ・非常時には議論というものが萎縮しがち
 - ・「議論している場合ではない」感覚
 - ・みんな大変な思いをしているのだから異論をはさむべきでない感覚
 - ・期待される議論の役割
 - ・ローカルなリスクコミュニケーションの場
 - ・復旧、復興の在り方
 - ・市民のニーズの集約と整理

議会は「最後の頼みの綱」であろうとするか？

- ・非常時にまっとうな議論の場は失われやすい
- ・好みの情報だけに触れられる場の拡大
- ・声の大きさがだけが大手を振ってまかり通りやすい
- ・首長(行政)が陥りやすいワナがある
- ・「私を信じていれば大丈夫」
- ・議会は最後の頼みの綱になれるか
- ・忤度しない かつ 冷静な議論の場
- ・市民の声や複数の専門的知見を議論の場に引き出す

時間がない中で本当に議論は必要なのか。どうするって決断を迫られ、各部署のいろいろなところで判断しながら、仕事はされていますが、一切議論なしで安心な判断できるだろうか。そのタイミングによりどれくらいの時間議論に充てるべきか制約はあるが、ふさわしい議論もあると思う。特に市民ニーズを細かく把握して落ち着いて議論することが必要なのでは。

トップに任せてくださいいわれると、その気になるが、任せるけど丸投げにはできないと、事実に基づいた議論も、大きな災害では復興が大きな事業であり、課題も多く、しっかり議論は必要だし、途中で状況が変わった時に議論が出来るよう開かれた議論の場を保つべき。

所感:

- ・今回の研修は、災害発生時にいかに行動し、市民を助けるための連携をどうとれるのか。そして議会として、行政側に丸なげをするのではなく、その時その時に必要な議論をしていくことと、状況が変わればそのタイミングで議論をできるようにいつでも対応が出来るよう用意しておくことの重要性を学ばせて頂きました。

全国地方議会 サミット2024

07.10^水&11^木 早稲田大学大隈講堂

非常事態への備え これからの議会

能登半島地震で被害に遭われた皆様へ心よりお見舞い申し上げます。被災地域の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

2024年元日に発生した能登半島地震は甚大な被害をもたらし、今なお復興のさなかにあります。

災害対応や支援のあり方、最新技術やデジタル、各地の経験をどう活かしていけるのか——。

地域や住民の生活を守るために、私たちが学ぶべき現場の実践・経験知について、現場で対応にあたる当事者や経験者とともに議論します。

非常事態や様々な課題への対応、強い地域をつくる「これからの議会」を提起・発信します。

7/10^水 Day1
13:00-17:30

基調講演 生活を支える強い地域を議会がつくる

早稲田大学マニフェスト研究所 所長 北川 正恭 氏

能登半島地震被災地の議会からの報告

輪島市議会議員・元議長 橋原 正洋 氏

珠洲市議会 議長 番匠 雅典 氏

能登町議会 議長 金七 祐太郎 氏

熊本地震の経験と自治体間支援の現場から

熊本市長 大西 一史 氏

能登半島地震と珠洲市の状況と対応

珠洲市長 泉谷 満寿裕 氏

大西 一史 氏 × 泉谷 満寿裕 氏

防災DXの最前線と今後の展開

国土研究開発法人防災科学技術研究所 総合防災情報センター長

防災 DX 官民共創協議会 理事長

白田 裕一郎 氏

災害時におけるドローン・人工衛星など最新テクノロジー活用の可能性

佐賀県庁・JAXA・総務省地域情報化アドバイザー

宇宙公務員 円城寺 雄介 氏

東日本大震災の経験から

元総務大臣 片山 善博 氏

○ 終了後意見交換会

(先着150名様、参加費4,000円、要申込)

7/11^木 Day2
10:00-16:00
送中議休あり

非常事態への備えと議会の対応・役割

法政大学 総長 廣瀬 克哉 氏

【パネルディスカッション】

東日本大震災の経験をふまえた災害対応

久慈市議会議員 濱欠 明宏 氏

大規模復興と議会のあり方

陸前高田市議会議員・元議長 福田 利喜 氏

住民避難・離散と自治体・議会の活動

双葉町長 伊澤 史朗 氏

デジタル・生成AIを活かす

デジタルハリウッド大学 教授 橋本 大也 氏

議会改革の最新トレンドとトピックス

議会改革の軌跡と展望

ーマニフェスト選挙から20年、その先に！ー

大正大学 教授 江藤 俊昭 氏

【パネルディスカッション】

諸選監査委員の活性化と議会・監査委員事務局の連携

あきる野市議会議員・諸選監査委員・元議長 子籠 敏人 氏

可児市議会議員・諸選監査委員・元議長 川上 文浩 氏

可児市監査委員事務局 平田 祐二 氏

委員会代表質問を活かす

法政大学 教授 土山 希美枝 氏

甲賀市議会、別海町議会

早稲田大学マニフェスト研究所「議会改革度調査」から

早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健氏

全国地方議会サミット2024

検索



※ プログラムは現時点の予定であり、変更になる可能性があります。 <https://maniken.jp/summit/>

日時 | Day1 | 2024年7月10日(水)13:00-17:30
| Day2 | 7月11日(木)10:00-16:00

会場 | 早稲田大学大隈記念講堂(大講堂)
〒169-0071 東京都新宿区戸塚町1-104
オンライン配信あり(Zoomミーティング)

対象 | 議員、議会事務局・自治体職員、市民等

定員 | 会場 | 先着1000名様 | オンライン | 定員無し

参加費 | 議員 | 11,000円
| 一般 | 5,500円 いずれも税込、2日間を通しての金額です。

申込方法 | ウェブもしくは裏面のFAX申込書より 期日:2024年6月30日(日)

主催 | ローカル・マニフェスト推進連盟 マニフェスト大賞実行委員会

共催 | 早稲田大学マニフェスト研究所

後援 | 全国市議会議長会 全国町村議会議長会

問合せ | 電話 | 03-6709-6739 | メール | mani@maniken.jp
事務局 早稲田大学マニフェスト研究所(亀井、山内)

主催

ローカル・マニフェスト推進連盟



Manifesto Awards

共催

早稲田大学
マニフェスト研究所

後援



全国市議会議長会



全国町村議会議長会

出張旅費計算書

適 用	全国地方議会サミット2024 に参加するため 東京都新宿区戸塚町			会 派	ちがさき自民クラブ		
期 間	令和6年7月10日、11日 2日			出 張 者 氏 名	岡崎 進		
経 路		日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額 (円)
茅ヶ崎 — 東京 JR東海道本線		1	—	63.7	990	—	990
東京 — 大手町 東京メトロ銀座線					180	—	180
大手町 — 早稲田 東京メトロ東西線						—	
早稲田 — 大手町 東京メトロ東西線			—	63.7	180	—	180
大手町 — 東京 東京メトロ銀座線						—	
東京 — 茅ヶ崎 JR東海道本線					990	—	990
茅ヶ崎 — 東京 JR東海道本線		1	—	63.7	990	—	990
東京 — 大手町 東京メトロ銀座線					180	—	180
大手町 — 早稲田 東京メトロ東西線						—	
早稲田 — 大手町 東京メトロ東西線			—	63.7	180	—	180
大手町 — 東京 東京メトロ銀座線						—	
東京 — 茅ヶ崎 JR東海道本線					990	—	990
計		2	—	254.8	4,680	0	4,680
	日 数			単 価(円)		金 額(円)	
日 当	2日			2,400		4,800	
研修参加費	2日			11,000		11,000	
合 計	¥20,480 ×			1 人		¥20,480	

領収データ - 全国地方議会サミット2024

発行日	2024年7月8日
宛名	<u>ちがさき自民クラブオカザ:</u>
合計	¥11,000
但し	<u>サミット受講代金</u>
注文日	2024年6月10日
注文番号	25920975
主催者	ローカル・マニフェスト推進連盟 (ローカル・マニフェスト推進連盟)
イベント名	全国地方議会サミット2024



印刷する

政務活動報告書

令和6年10月21日

茅ヶ崎市議会議長

岸 正明 様

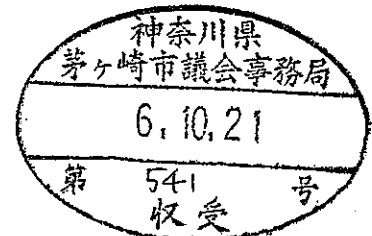
(会派名) ちがさき自民クラブ

(氏 名) 水島誠司、水本定弘、岡崎進、金子遥

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和6年10月9日(水)、10日(木)
目 的 地 (研 修 地)	トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館) (岩手県盛岡市内丸13-1) ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING 4階「メトロポリタンホール」 (岩手県盛岡市盛岡駅前北通2番27号)
視 察 事 項	第19回全国市議会議長会研究フォーラム 「人口減少社会における地域の未来図」

政務活動の結果(別紙のとおり)



報 告 書

令和6年10月21日（火）

茅ヶ崎市議会議長
岸 正明 様

ちがさき自民クラブ
氏 名 水島 誠司

令和 6年 10月9日から 10日までの2日間 の所管に関する事務の調査をしました結果、次のとおり報告します。

1 旅 行 経 過

- (1) 出発地及び時間 別紙行程表のとおり
- (2) 到着地及び時間 //
- (3) 場 所 岩手県盛岡市トーサイクラシックホール岩手
- (4) 参 加 者 4名 別紙報告書のとおり
- (5) 随 員 なし

2 視 察 経 過 別紙報告書のとおり

3 添 付 資 料 別紙のとおり

令和6年10月21日（火）

第19回全国市議会議長会研究フォーラム参加報告書

1 参加者

水島誠司（代表） 水本定弘（副代表）

岡崎 進 金子 遥

※全国で2413名が参加

2 研修期日

令和6年10月9日（水）・10日（木）

3 研修会場

岩手県 盛岡市

4 研修事項

第1日目 ・「主権者教育の新たな展開」

コーディネーター 井柳 美紀 静岡大学人文社会科学部

・「誰がための主権者教育か」

土山希美枝 法政大学法学部教授

・「人口減少における学校の未来を考える」

渡辺喜久 読売新聞東京本社

・「盛岡市議会の取り組み 高校生議会」

遠藤政幸 盛岡市議会議長

第2日目 ・「主権者教育の取組報告」

コーディネーター 河村和徳 東北学院大学情報科学研究科
准教授

・「高校生の議会傍聴と意見交換会の取組」

白鳥敏明 長野県伊那市議会 前議長

・「四日市市議会 主権者教育の取組」

諸岡 覚 四日市市議会議員第83代議長

・山鹿市議会が取り組んだシチズンシップ教室

服部香代 山鹿市議会議長

5 視察概要

	(報告者 水本定弘)
研修目的	各地方自治体においては、地域経済の再生をはじめ、加速する少子化への対応、デジタル田園都市国家構想・地方創生の実現、脱炭素化の推進、頻発する大規模な自然災害への対応や強靱な国土づくりなどが喫緊の課題となっている。 このような中、地方自治体の重要な意思決定を行う地方議会の役割はますます重要になっていく。 若者や女性、会社員など多様な人材の市議会への参画を促し、住民とのコミュニケーションを深めながら、監視機能・政策形成機能の強化、デジタルへの対応など不断の議会改革に取り組んでいく必要がある。 また、議会の活動内容や重要性をより市民に理解して頂く観点からも各市議会の情報共有を行いながら課題に取り組む必要があるため。
内 容	主権者教育概略＝子どもたちが政治や社会に関心を持ち、それを「自分ごと」として考えた上で選挙などに主体的に参加する態度を養う教育。また、文部科学省の定義では、政治の仕組みについての知識だけでなく、社会で自立し、他者と連携・協働しながら課題解決を担う力を身に付けること。 教育基本法（昭和22年）第8条（政治教育）では良識ある公民たるに必要な政治的教育は、教育上これを尊重しなければならない。 のちに教育基本法改正（成18年） 今回のフォーラムでは、多様化する学校教育の中では現実の具体的な政治事象には、教師自身も教材として十分理解し客観的に取り扱い事に困難があり、ともすれば教師の個人的な主義主張がはいりこむおそれもあり、政治教育は客観性を要する。 また、SNSなどの情報が錯綜する中ではより難しい状況にある。 結果、政治への関心や理解が不足し、国政・地方選挙の投票

率の低下（これだけの要素ではないが）につながってくる。これらを改善する努力が我々議員には必要である。

今回のパネルディスカッションでは、主権者教育の取り組み事例として、自治体で高校生に（県教育委員会、学校長の理解を得ながら）授業の一環として、議会の傍聴を行ったり、高校生議会として議場を使い模擬質問を実施するなど、理解を促進する活動を行っている自治体もある。

18歳からの選挙権を有効に使ってもらおうと同時に、投票率の向上にも役立つと思われる。

本市においては、小学校の議場見学、市民集会などが行われているが、県立高校生の生徒を対象に上記のような取り組みを行っても良いと思う。

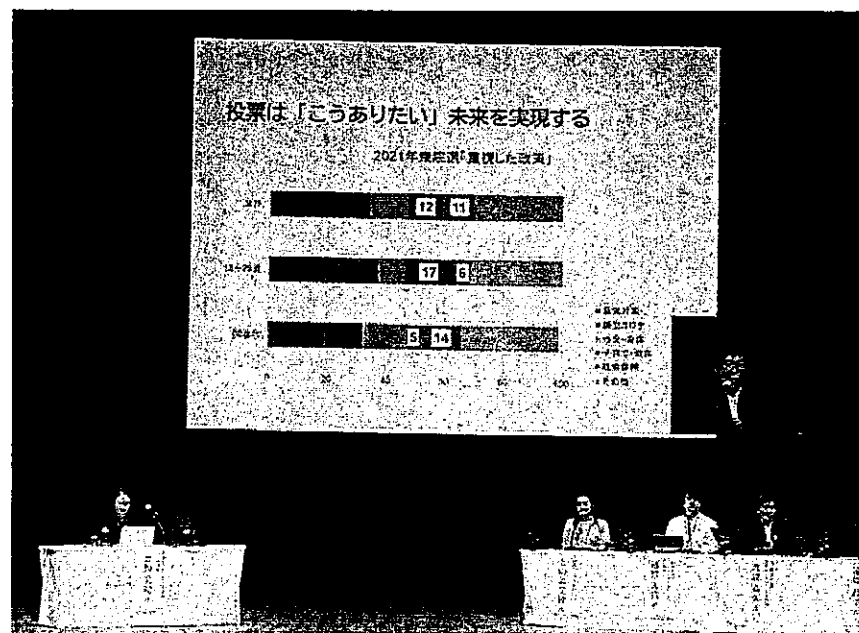
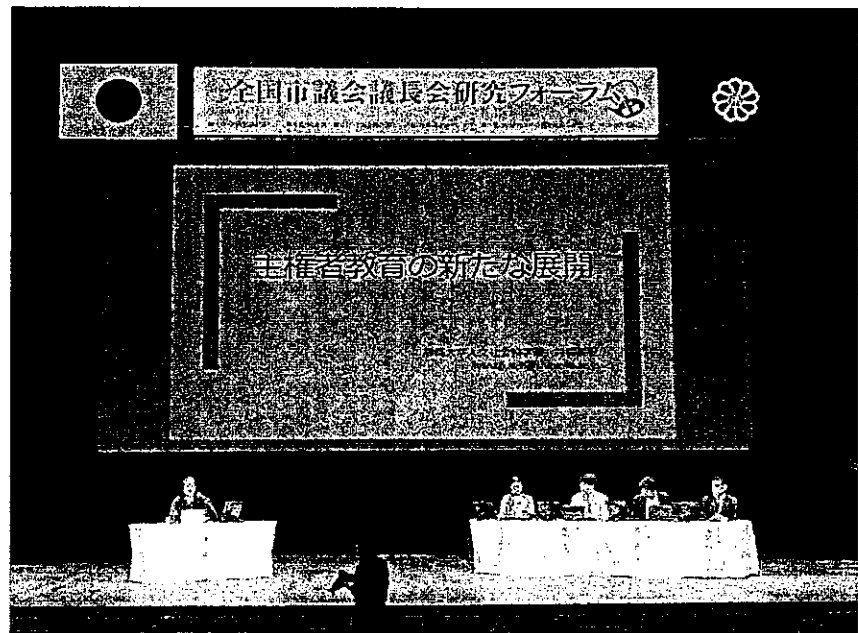
高校側も議会という場を使って、議員と意見交換ができることは教育の一環としてとても有効であると思う。

議会が市民の主権者教育を説くのではなく、議会と市民が学び合う場を多く持つことが、シチズンシップ（市民権）や二元代表制の仕組みや議員活動への理解にも繋がり、協働のきっかけに繋がるので有効であると思われる。今後は「主権者教育」という言葉自体にも時間をかけ十分検討する必要があると思われる。

※資料

第19回全国市議会議長会研究フォーラム資料集参照

第19回全国市議会議長会研究フォーラムパネルディスカッションの様子

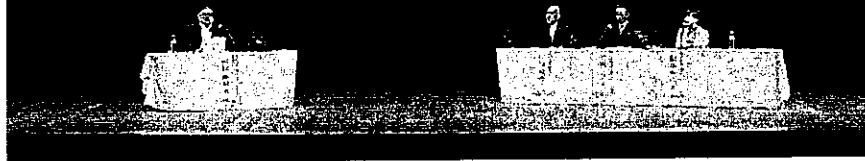




全国市議会議長会研究フォーラム



課題討議「主権者教育の取組報告」
地方議会と主権者教育
東北大学大学院情報科学系
准教授 河村知雄



第19回

全国市議会議長会 研究フォーラム



National Association of Chairpersons of City Councils

開催のご案内

▶参加申込み期間

[議長を含めたすべての対象者のお申込み]

令和6年6月24日(月)10時00分～7月12日(金)17時00分

開催日：令和6年10月9日(水)・10日(木)

場 所：トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）

主催：全国市議会議長会 後援：総務省（予定）

協賛：全国市議会議員互助会、（有）都市企画センター

実施：第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

◆開催概要



日 時	第1日目：令和6年10月9日(水) 13時00分開会（開場・受付11:30） 第2日目：令和6年10月10日(木) 9時00分開会（開場8:30）
場 所	フォーラム会場：トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館） 岩手県盛岡市内丸13-1 意見交換会会場：ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING 4F「メトロポリタンホール」 岩手県盛岡市盛岡駅前北通2番27号 ※会場等へのアクセスについては、P.7「会場へのアクセス」をご参照ください。
主 催	全国市議会議長会
後 援	総務省（予定）
協 賛	全国市議会議員互助会、（有）都市企画センター
実 施	第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会
テ ー マ	主権者教育の新たな展開（仮）
定 員	2,300名 ・ 申込者が定員を超えた場合は、抽選を行います。 ・ 申込時に「議長優先」を選択した議長については抽選を行わずメイン会場（大ホール）での参加が確定となります。それ以外の申込者については、抽選により「参加（メイン会場）」「参加（中継会場）」「キャンセル待ち」を決定します。 ・ 議会事務局職員の申込みについては、各市区につき1名のみとさせていただきます。 ・ 会場のお席については、自由席とする予定です。 ※詳細は、P.8～P.10「参加申込のご案内」をご参照ください。
参加費	1人 9,000円

◆タイムスケジュール



第1日 10月9日(水) [会場：トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）]

- 11:30 開場・受付
- 13:00 開会式
- 13:20 基調講演
「人口減少社会における地域の未来図」(仮)
菅 義偉 第99代内閣総理大臣
- 13:50 休憩
- 14:10 パネルディスカッション
「地方議会の課題と主権者教育」(仮)
コーディネーター 井柳 美紀 静岡大学人文社会科学部法学科教授
パネリスト 土山 希美枝 法政大学法学部教授
越智 大貴 一般社団法人WONDER EDUCATION 代表理事
渡辺 嘉久 読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局
遠藤 政幸 盛岡市議会議長
- 16:10 次期開催地挨拶
- 16:20 終了
- 17:30 意見交換会
[ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING 4階「メトロポリタンホール」]
- 18:30 意見交換会終了



第2日 10月10日(木) [会場：トーサイクラシックホール岩手（岩手県民会館）]

- 8:30 開場
- 9:00 課題討議
「主権者教育の取組報告」(仮)
コーディネーター 河村 和徳 東北大学大学院情報科学研究科准教授
事例報告者 白鳥 敏明 伊那市議会前議長
諸岡 覚 四日市市議会議員(第83代議長)
服部 香代 山鹿市議会議長
- 11:00 閉会式
- 11:30 視察

※登壇者は、変更になる場合もございます。

出張旅費計算書

適 用	第19回全国市議会議長会 研究フォーラム 盛岡市			会派名	ちがさき自民クラブ		
期 間	令和6年10月9日から 10月10日まで 2日間			出張者 氏 名	水島 誠司 水本 定弘 岡崎 進 金子 遥		
経 路		日数	泊数	キロ数	運賃 (円)	急行料金 (円)	金額 (円)
茅ヶ崎駅 — 東京駅 (JR東海道線)		1	1	58.6	9,460	0	15,690
東京駅 — 盛岡駅 (東北新幹線)				535.3		6,230	
盛岡駅西口 — 県庁・市役所前 バスターミナル (トーサイクラシックホール岩手) (無料シャトルバス)				2.3	0	0	
トーサイクラシックホール岩手 — HOTEL MAZARIUM (徒歩)				0.65	0	0	
HOTEL MAZARIUM — トーサイクラシックホール岩手 (徒歩)		1	1	0.65	0	0	0
県庁・市役所前 — 盛岡駅西口 (トーサイクラシックホール岩手) バスターミナル (無料シャトルバス)				2.3	0	0	
盛岡駅 — 東京駅 (東北新幹線)				535.3	9,460	6,230	15,690
東京駅 — 茅ヶ崎駅 (JR東海道線)				58.6		0	
計		2	1	1,194	18,920	12,460	31,380
		日 数		単 価 (円)		金 額 (円)	
日 当		2		2,400		4,800	
宿泊料		1		14,360		14,360	
夕 食		1		2,000		2,000	
宿泊料超過分		1		-2,360		-2,360	
参加費		1		9,000		9,000	
合 計		59,180 ×		4		236,720	

宿泊先 HOTEL MAZARIUM (1泊朝食付) 14,360円
岩手県盛岡市中ノ橋通1-9-22

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡

令和6年9月26日

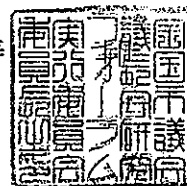
ちがさき自民クラブ 水島 誠司 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金9,000円 (不課税・消費税対象外)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡の参加費として

令和6年10月9日・10日開催 (盛岡市)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡

令和6年9月26日

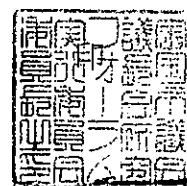
ちがさき自民クラブ 水本 定弘 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金9,000円 (不課税・消費税対象外)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡の参加費として

令和6年10月9日・10日開催 (盛岡市)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡

令和6年9月26日

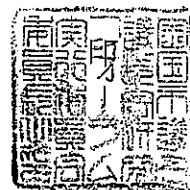
ちがさき自民クラブ 岡崎 進 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金9,000円 (不課税・消費税対象外)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡の参加費として

令和6年10月9日・10日開催 (盛岡市)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡

令和6年9月26日

ちがさき自民クラブ 金子 遥 様

参加費領収書

東京都千代田区平河町2-4-2

第19回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 坊 恭 寿



金9,000円 (不課税・消費税対象外)

第19回全国市議会議長会研究フォーラム in 盛岡の参加費として

令和6年10月9日・10日開催 (盛岡市)

領収書

Rakuten Travel

楽天旅行クラブ

水島 誠司

様

発行日: 2024/10/25

発行1回目

支払金額

14,360 円

宿泊料金: 14,360 円

但し サービス利用代金等として

■ 内訳

クレジットカード決済金額

14,360 円

■ 課税対象

10%対象

14,360 円

課税対象外

0 円

■ 利用内容

宿泊者氏名

みずしま せいじ

予約番号

RYa0ihupba_2

宿泊施設

HOTEL MAZARIUM (ホテル マザリウム)

宿泊施設住所

岩手県盛岡市中ノ橋通1-9-22 (盛岡バスセンター3階)

チェックイン日

2024/10/9

チェックアウト日

2024/10/10

宿泊人数

大人 1名

ご利用ありがとうございました。

楽天グループ株式会社

トラベル&モビリティ事業

〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-14-1

楽天クリムゾンハウス

<https://travel.rakuten.co.jp/>

登録番号: T9010701020592



領収書

Rakuten Travel

楽天旅行クラブ
水本 定弘発行日: 2024/10/25
発行1回目

様

支払金額

14,360 円

宿泊料金: 14,360 円

但し サービス利用代金等として

■ 内訳

クレジットカード決済金額

14,360 円

■ 課税対象

10%対象

14,360 円

課税対象外

0 円

■ 利用内容

宿泊者氏名

みずもと さだひろ

予約番号

RYa0ihupba_4

宿泊施設

HOTEL MAZARIUM (ホテル マザリウム)

宿泊施設住所

岩手県盛岡市中ノ橋通1-9-22 (盛岡バスセンター3階)

チェックイン日

2024/10/9

チェックアウト日

2024/10/10

宿泊人数

大人 1名

ご利用ありがとうございました。

楽天グループ株式会社

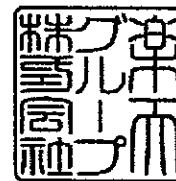
トラベル&モビリティ事業

〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-14-1

楽天クリムゾンハウス

<https://travel.rakuten.co.jp/>

登録番号: T9010701020592



領収書

Rakuten Travel

ちかき自民クラブ

岡崎 進

様

発行日: 2024/10/25
発行1回目

支払金額 14,360 円
宿泊料金: 14,360 円

但し サービス利用代金等として

■ 内訳

クレジットカード決済金額 14,360 円

■ 課税対象

10%対象 14,360 円

課税対象外 0 円

■ 利用内容

宿泊者氏名 おかざき すすむ

予約番号 RYa0ihupba_3

宿泊施設 HOTEL MAZARIUM (ホテル マザリウム)

宿泊施設住所 岩手県盛岡市中ノ橋通1-9-22 (盛岡バスセンター3階)

チェックイン日 2024/10/9

チェックアウト日 2024/10/10

宿泊人数 大人 1名

ご利用ありがとうございました。

楽天グループ株式会社

トラベル&モビリティ事業

〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-14-1
楽天クリムゾンハウス

<https://travel.rakuten.co.jp/>

登録番号: T9010701020592



領収書

Rakuten Travel

ちがさき自民クラブ

発行日: 2024/10/25

発行1回目

金子 遥

様

支払金額

14,360 円

宿泊料金: 14,360 円

但し サービス利用代金等として

■ 内訳

クレジットカード決済金額

14,360 円

■ 課税対象

10%対象

14,360 円

課税対象外

0 円

■ 利用内容

宿泊者氏名

かねこ はるか

予約番号

RYa0ihupba_1

宿泊施設

HOTEL MAZARIUM (ホテル マザリウム)

宿泊施設住所

岩手県盛岡市中ノ橋通1-9-22 (盛岡バスセンター3階)

チェックイン日

2024/10/9

チェックアウト日

2024/10/10

宿泊人数

大人 1名

ご利用ありがとうございました。

楽天グループ株式会社

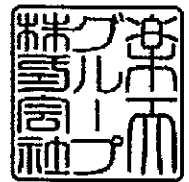
トラベル&モビリティ事業

〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-14-1

楽天クリムゾンハウス

<https://travel.rakuten.co.jp/>

登録番号: T9010701020592



政務活動報告書

令和7年3月17日

茅ヶ崎市議会議長

岸 正明 様

(会派名) ちがさき自民クラブ

(氏 名) 岡崎 進

政務活動の結果は、次のとおりでした。

日 時	令和6年11月14日10時30分～
目 的 地 (研 修 地)	トップランナーに学ぶ受賞事例研修会 (株式会社メディアドゥ セミナールーム)
政務活動の結果 (別紙のとおり)	



令和7年3月10日

茅ヶ崎市議会議長

岸 正明 様

ちがさき自民クラブ

氏 名 岡崎 進

令和6年11月14日行われた、第19回マニフェスト大賞「トップランナーに学ぶ 受賞事例研修会」に参加しましたので、次のとおり報告します。

政策・まちづくり部門

「吃音(きつおん)経験者 参議院議員 杉尾(すぎお)秀哉(ひでや)」及び「超党派議員ネットワーク」さん

3歳児健康診査の問診票に「吃音」を明記する自治体は1%吃音が十分に発見されていない恐れが明らかに

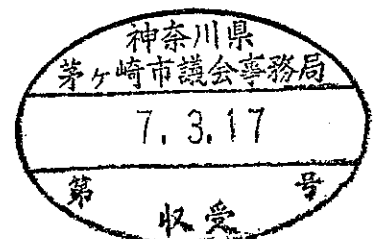
【各自治体への取り組み】

①「3歳児健康診査において、前述の累積発症率 8.9%という研究成果に鑑み、吃音の症状が見られる幼児を十分に発見できているか検証すること」を求めます。仮に不十分であった場合には「問診票に吃音を明記した項目を加えるなどの改善を行う」よう働きかけてまいります。

②3歳児健康診査において、吃音である疑いが発見された場合には、「各自治体は、保護者に対し吃音の理解促進を図るリーフレットを配布のうえ、専門機関を紹介するなど、当事者・保護者に寄り添った対応」をするよう要望してまいります。

【国への取り組み】

「吃音を十分に発見するためにどのような問診票の項目が望ましいか、自治体に例示することなど」を働きかけてまいります。また、「国として、吃音の相談をうけることができる専門家や専門機関を養成し、当事者・保護者が相談しやすい環境の整備により一層、取り組むよう」要望してまいります。



目黒区議会議員 山本 ひろこさん

父母会で始めたお弁当サービスが目黒区公式で導入された。

毎朝の負担と、食中毒の不安。役所が動かないなら、自分でやってみる。自主活動から持続的な活動へ、議会に提案するも、拒否反応。導入の決め手は、担当者の理解だった。

NPO 法人全国ひとり親 居住支援 機構、豊島区住宅課、川瀬さなえ

～政官民で協働した空家活用シングルマザーシェアハウスの実践～

想像できますか？「家を借りれない」ということをひとり親世帯の中でも特に母子家庭。あるいは離婚をしようとしているプレシングルマザーは、住まいを探す場合に不利益を被るケースが多い。母子家庭の居住支援においては、それを金銭的に支援する公的な制度が何もなく、需要に比べて供給は不足している。行政がセーフティネットを担えず、民間の事業者が行政に頼られてセーフティネットを担っているという逆転現象も起きている。

空き家を母子ハウスへ、一人でやらないで、NPO、企業、家主、議員、地方自治体が連携して行う。

東京都町田市さん

施工管理アプリの新たな可能性“あったらいいな”の実現に向けて

民間工事において利用されている施工管理アプリを、自治体が発注する工事においても活用し、自治体と事業者をつなぐプラットフォームとすることで、双方の業務効率化を図ります。

工事写真の撮影等に係る作業時間(5分→1分) 約80%減

資料準備に係る作業時間(20分→3分) 約85%減

工事書類のチェックバック連絡(5分→1分) 約80%減となった。

みよし市長 小山 祐さん

市独自施策による会計年度任用職員(非正規公務員)の処遇改善

【会計年度任用職員の課題】

- ・任用は原則1年以内(再度の任用あり)。原則昇給なし
- ・自治体によって選考によらない更新の回数制限に差異。
- ・民間企業に義務付けられている無期転換ルール適用なし
- ・会計年度任用職員と常勤職員の給与の不均衡
- ・『扶養の範囲内』(年収の壁)を意識した働き方

保育園からおむつの持ち帰りをなくす会さん

当たり前を見直し、子育てが楽しいと思える社会を行政とともに創る～保育施設から使用済みおむつを持ち帰る問題～

おむつの持ち帰り問題の解決のために、国や自治体に働きかけを行う団体です。

「子育てしやすい社会の実現」にむけて、当事者や支援者とともに一步一步課題解決に取り組んでいます。

茨木市議会議員 塚 理さん

「地域から国を変えた！！子ども達の未来のために～ワクチンの予防接種記録の問題点のカイゼンの成果～」

西宮市議会議員 たかの しん さん

この計画、本当に必要ですか？～計画策定業務の見直し～

■計画策定業務への問題意識

策定・見直しの度に当局から説明を受ける中で…

⇒労力・費用が大きすぎる！

⇒目的や効果の不明瞭な計画が多い！

計画を策定すること自体が目的となっていないか？

法的な策定義務がなく、かつ、国から補助金等を受けるための条件に該当しない計画は「52件」

■一般質問での提言

①法的な策定義務がなく補助金等の条件になっていない計画等について、内容を精査し、必要性の低い計画等については、策定を取りやめるべきでは？

②計画等を策定する場合であっても、内容や手順を大幅に簡素化するべきでは？

③計画等の見直しを全庁的な方針として進めるべきと考えるが、そのための具体的な方策を示せ。

■成果

◇保健医療計画の改定中止 委託料等の支出を約712万円削減！

■まとめ

市民の方々が納めた税金や、市職員の皆さんの時間は、計画を作るためにあるわけではない！

限られたリソースは市民サービスの維持・向上にこそ充てられるべき！！

そうした思いから、今後も内部事務の効率化について、具体的な提案を重ねていく。

徳島県 海岸漂着物 対策協議会さん

それは県の仕事だ、この街に海は関係ない。私たちは何のために政治家になったのか？

○2022年6・9月

協議会の議論をもとに鳴門市、阿南市、小松島市など各自治体で一般質問や委員会で議論が行われる。また県議会でも各自治体の議論を受けた質問が行われる。

○2023年2月

徳島県は初めて海岸にも使用できる海岸漂着物対策補助金の予算をつける。それを受け阿南市では2023年度の当初予算で阿南市海岸漂着物等回収処理事業を予算化し、地域のボランティアが活用しやすい事業を開始

○2023年10月

海ごみサミットを阿南市で開催。市民と市・県職員と議員がワールドカフェ形式で議論した。

【海洋プラごみ汚染について、ごみの再資源化や不法投棄対策も併せた「循環型社会構築」に資する「新プロジェクトチーム」の検討を踏まえ、ごみの流入実態調査や発生抑制対策等を実施します。】と明記された

南国市(なんこくし)議会議員 前田 学浩(みちひろ)さん

社会教育を地方創生のメインストリームに！

私たちを取り巻く環境が大きく変化する中で、政府は、「小さい範囲の“地域”に焦点化した施策を次々に提起し、実施しています」防災や福祉など地域社会の基盤となる地域コミュニティがしっかりと初めて機能します。

社会教育で賛同者を増やすには？

総務省 地域運営組織

厚労省 地域包括ケアシステム

国交省 地域防災システム

地方創生 小さな拠点づくり

文科省 コミュニティスクール 地域学校協働活動

人づくり・つながりづくり・地域づくりにいま、社会教育士が必要です。

志免(しめ)町(まち)子どもの権利相談室・志免町子どもの権利救済委員さん

子どもたちと手紙交換での悩み相談

志免町子どもの権利相談室「スキッズ」

- ・ 志免町子どもの権利条例に基づいて設置

⇒2007 年施行。全国で 10 番目、九州では初めて。

子どもの権利を保障するための「子どもの権利救済制度」が定められ、任命された 3 名の「子どもの権利救済委員」が子どもの最善の利益を 考慮して活動。その窓口を担っている。

- ・ 第三者機関で、役場から離れた施設内にある。
- ・ 週に 3 日開室し、相談員 3 名が対応。出張スキッズを楽しみに待つ利用者が増え、そこで存在を知り、保護者と一緒にスキッズに相談に来る小学生も。その後コロナ禍になり、対面活動が困難になったので、安全に子どもの声を聴き、対応できるよう、お手紙交換を開始

お手紙交換で、相談数は激増子どもたちの声が、たくさん聴こえるように。

コロナ禍が明け、対面での相談も可能になったが、お手紙交換は継続。

柳谷(やなぎだに)自治公民館(やねだん)さん

地域再生 & 創生～行政に頼らない感動の地域づくり～

企業会計原則で、リーダーは不可欠、地域活動に補欠はいない(一人で頑張らなくてもよい、才能を引き出せばいい)地域課題を正面突破するには、あわてるな、急ぐな、近道するなの忍耐力・企画力・演出力・財務力

議会改革部門 優秀賞・躍進賞

栗山町議会さん

議員のなり手不足問題に挑む、「議員の学校」開校

広報活動の強化、議員アカデミーの実施による後継者育成、児童生徒を含む町民への総合的な主権者教育。

議員の後継者育成として議会や議員に関心や志のある町民等を発掘、育成し、議員のなり手不足の課題の解決に向けた一助として取り組むもの。全 6 回学校運営を模倣した体制に。

芽室町議会さん

議会改革「第 3 ステージ」への飛躍「議会基本条例の実践～条文が真に生かされる議会活動～」

昨年、町が抱える政策課題について、議会として議会基本条例に則り、さまざまな取組みを実践してきた経過をご報告します。

町が抱える政策課題とは？

町が100%出資して設立した第3セクターが指定管理を受けている町の観光施設(宿舎、スキー場、キャンプ場等)の経営状況悪化に伴うもの。

最終的には会社の運営に対する追加支援金としての補正予算に対する対応

まとめ

政策課題に向き合うために、議会基本条例の条文を総動員。

専門的知見を得るための研修の実施、議会サポーター制度の活用によって議会全体の「機能強化」を図り、議会だよりやHPを通じて住民に対する「情報公開・共有」を行ってきた。

議会モニター制度や議会ホットボイス制度、議会報告会等、「住民参画」の機会についても意識しながら取り進めてきた。

引き続き、通年議会制度の強みも活かして、不断の改革及び活性化に努め、議会基本条例の条文が真に生かされる議会、議会基本条例が住民福祉の向上につながっていく取り組みを目指して歩みを進めていく。

奥州市議会さん

「奥州市議会ICT推進方針」の実践

～生成AI等の活用による更なる議会改革の推進～

議長マニフェスト ～市民への約束と不断の改革への決意～

① 奥州市議会の「見える化」の推進に努めます→議会ICT推進方針の明確化 など

② 広報・広聴活動の充実・強化を図ります

→広報と広聴機能の一体的な取組体制の整備 など

③ 政策立案・政策提言サイクルの充実・強化を図ります

→決算・予算審査の連動による政策提言サイクルの構築 など

④ 議員間討議の制度化による十分な審議と市民への説明責任に努めます

→対話をベースにした議員間討議の制度化 など

⑤ 議員の成り手不足解消の調査研究と対策の実施、主権者教育の推進に努めます

→議員の成り手不足解消に向けた調査研究と対策の実施 など

生成AI活用の紹介 ～令和5年政策決議提案から～

○ ChatGPT 対話・議論補助①(令和5年6月)

議論における見落としを生成 AI で補う手法

ワールドカフェや議員間討論だけでは提言内容に見落としが懸念されるため、生成 AI との対話で確認作業をしていた。

- 現状と課題について議員間で共通認識を深める手段とした。
- 関係者も気づかなかった新たな視点を、議論に加えることができた。

○テキストマイニングで対話・議論補助(令和5年9月～)

議論における見落としをマイニングで補う手法

- 議案審査で議論が集中した内容を確認するため、AI テキストマイニングで確認しながら決議における提言内容を確定していった。

○ライブ字幕システムの導入(令和5年8月～) ● インターネット中継では画面の下にライブ字幕を表示

- 傍聴席ライブ字幕では傍聴席大型モニターにライブ字幕を表示
- ネット配信し、133 の国と地域の外国語翻訳に対応

藤沢市議会改革推進会議さん

究極の議員間討議を実現！「藤沢型政策検討会議」

「藤沢型政策検討会議」とは⇒ 条例／政策提案の最初のハードルを低くする

提案の受け皿としてのプラットフォーム

その特徴は

- 意見が異なっても発言しやすく、活発な議員間討議を実現させるしくみ
- ⇒ 複数案件の同時進行を前提とした建付け

結論

活発な議員間討議が市民サービス向上に直結する実感

多様な議員による多様な意見の集約こそ民意の反映の道である

⇒ 藤沢型政策検討会議をツールとすることで、政策形成サイクルを議会運営上のシステムとして確立させる道を開いた。

西脇市議会さん

さらなる進化を目指して！議会報告会のターゲットを拡大！！

多様な団体との意見交換を推進

□消防団、PTA、女性会、子育て世代を対象に追加

□幅広い世代と意見交換

□新たな意見を議会活動に反映

具体的な成果

□給食費無償化の要望 → 市 長・教育長に申入れ

□学校施設整備の要望 → 教育予算に反映

□消防団の在り方について → 所管事務調査

情報共有の強化

□全戸配布の「議会だより」に記事を掲載

□開催自治会へのフィードバック

若年層との交流

□若年層との交流で信頼向上と透明性推進

今後の展望と課題

□多様な市民の意見を引き続き反映

□チーム議会として、課題解決に向けた取組を継続

丹波市議会さん

夢を語ろう 未来へつなごう 丹波市議会☆ミライブプロジェクト

～市議会 × 大学生 × 高校生～

1 きっかけ 平成 29 年度

「議員研修」の位置づけで、研修テーマの講演・

テーマに基づいたグループワークを実施

① 研修テーマ「これからの地域に求められる持続可能な地域創生とは

～ 関係人口から考える ～」

② 出席範囲 丹波市議会議員19人、丹波篠山市議会議員16人合計35人

③ グループワーク 各市議会3人ずつ計6人程度

※ このとき、講師を務めた福知山公立大学 杉岡准教授から、「大学生」と「高校生」と

「市議会議員」の懇談会開催の提案があったことから、次年度実施に向けて検討に

入ることとなった。

6 令和6年度の変更点

- ・県立氷上特別支援学校高等部生徒の参加
- ・テーマは、高校生が自由に設定
- ・キックオフミーティング後、オンラインツールの活用と合わせ、班ごとに対面による意見交換、現地調査を実施

王寺町(おうじちょう)議会さん

広報の改善からはじまった議会改革への道ー住民・議員の行動変容

届かない広報は時間と税金の無駄だ

手に取りたくなる雑誌感、住民が主役の紙面、メリハリある「脱・報告書」紙面

あなたと議会をつなぐガイドブック

おうじ議会だより リニューアル号 広報コンクールW受賞

議会広報コンクール&毎日新聞広報紙コンクール

オシャレな表紙に読みやすい内容で大英断に感謝。素敵。引っ越したばかりで、知らないことが多いので、一冊の本のようで これからの議会広報が楽しみです 議会だよりを読んだことがなかった。大切な情報が載っていることに気づいたのでこれから愛読します

議会広報×LINE 動画視聴数が6倍に

●紙媒体と LINE(登録1万人)によるクロスメディア

リニューアル前と比べ本会議視聴数の

●月間アクセスが6倍に増加

「議会に関心がない」ワケではない

関係性の構築・維持のマネジメント町に関わるすべての人とのつながり

宮崎市議会さん

新たな広報広聴への挑戦～デジタルとリアル融合でつくる

議会はわからない・政治家は良いイメージがあまりない・政治は難しい

投票率も年々減少

新型コロナウイルス感染症・住民と意見交換できる機会は減少

もっと議員の活動を知ってほしい・多様な声を聞きたい・若い世代にも関心を持ってほしい

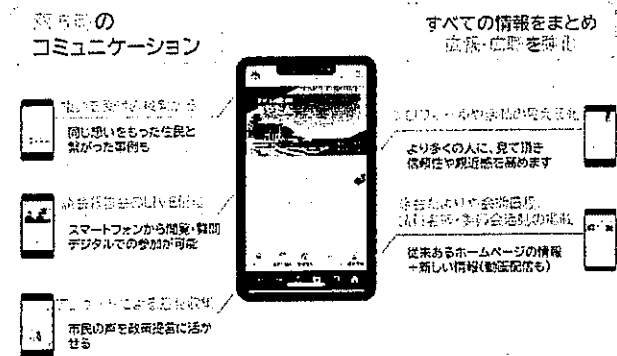
こども議会の開催 ～宮崎市の未来を語ろう！～

常任委員会の見える化！

議長と委員長の対談形式・各委員会は1～2分程度・若い世代を意識 宮崎市議会が目指す姿

デジタルとリアルを融合・誰でも参加できる議会を創る！

宮崎市議会DX みやだん



下川町(しもかわちょう)議会さん

高校生@議会をブラッシュアップ～「議会見学」から「理事者への一般質問(再質問あり)」に至るまで。

議会モニター制度を導入、高校生モニター

議会モニター事業の一環として、議会に興味・関心を持ってもらうことを目的に下川高等学校の生徒を招いて議会見学を行ってもらうところからスタートし、本会議の傍聴と議会だよりへの意見、次の段階で議席から議員への質問と回答、そして主体的な提案として町の課題等について理事者と質疑

高校生モニターの成果と期待したこと

- ① 若者の困りごとの把握・・・公共施設に Wi-Figa 整備、
- ② 誠司への関心向上・・・若年層の政治参加意識が高まる
- ③ まちづくりへの貢献・・・新たな課題の発見につながる

酒田市議会さん

800位からの大逆襲！を合言葉に

取組みの大きなテーマは2つ

○常任委員会の体制強化、政策提言

○通年議会の導入

激甚災害に指定された7月の大雨災害への対応

⇒8月及び9月に2回臨時議会を開催し、災害対応の補正予算を審議、可決

○その他の取組み

・タブレット導入によるペーパーレス議会の実施(R4 年 3 月)

- ・全戸配布している議会報のリニューアル
- ・山形交響楽団による議場演奏会(R6年2月)

御宿町(おんじゅくまち)議会さん

「失敗したって次に活かせばいい。」～ 最速フットワークで議会が町をひっぱる ～

議会×若者まちづくりワークショップ なぜ私たちが、スピード感を持って動けるようになったのか。

腹をくくったから。「失敗したって次に活かせばいい。」

背景には、行政の無謬性→脱却できない行政への強い危機感

行政はなかなか変わらない。→結論 まずは、我々が変わるしかない。変われなければ、明るい未来はない。

シティズンシップ部門 優秀賞

北海道松前(まつまえ)高等学校、函館新聞社さん

候補者のマニフェストを活用したリアル型模擬投票の実践—教育現場から民主主義の健全化を目指して—

選挙は通過点、地域課題を子どもたちと共に

- ・町選管は実施にやや否定的(物資の貸し出しすらなかった)→ 主権者教育への理解が進んでいない実態

- ・主権者教育は「選挙」だけではない「松前学」 自分事の課題探究を通して地域社会の一員に

「子ども議会」教育目的 + 子どもの声を政策に反映→ 実社会のリアルな課題を子どもたちと共に考え、「地方自治」を通して主権者を育てていく意識を共有

弘前(ひろさき)大学教育学部 政治学研究室さん

税金って役に立ってる？

税金を使ってまちづくり！～まちの人の要望を聞いてまちをつくってみよう～

ルール説明

児童の皆さんに町の職員になってもらう

↓

まちの人の願いや要望を、税金(予算)をつかって解決しながら独自のまちをつくる。(班ごとに)

↓

どの要望を解決するか優先順位を決め、各班ごとに決まった税金の使い道をワークシートに記入していく。

チーム安野(あんの)さん

2024 年東京都知事選挙における参加型マニフェストの取り組み

テクノロジーを使って、「発信」だけでなく「受信」をアップデート

安野の政策について、意見をいただく→皆さんの意見を可視化し、政策改善に活かす

オープンソースで政策改善のための意見や変更提案ができるように

6/21-7/6 の 15日間で、232 個の課題提起 104 個の変更提案があり、85 個が反映されました。

「聴く」「磨く」「伝える」を高速に回す参加型マニフェスト

students changing education さん

高校生が取り組む教員不足と労働環境の改善

1 人の教員が 2 クラスを授業→教員不足と労働環境は児童生徒の学習にも影響を与えている

学習者の声を教育政策に反映

- ・教育内容の削減で余裕ある学校に
- ・公立学校教員の異動の回数削減
- ・若い教員の正規採用と育成
- ・全国一律での教員不足と労働環境の改善

諏訪 玲子さん

行政施策をやいのやいのする

シティズンシップを醸成する学びの機会としてのパブコメの活用





まちのBARのポイント 1

市議がお酒をつくることで、
市民が構えることなく、
楽しくフラットな関係に。



成果

開始から1年でシティズンシップのムーブメントに

子どもから大人まで毎回30人〜60人の市産と、3人〜8人の市議が参加してくれている。自民・立憲民主・維新・共産党・無所属まで、党や会派を超えて議員が参加。これまでに議員17人（延べ46人）、市産延べ500人が参加。現場では至る所で様々なテーマについて議論され毎回熱気を感じています。

毎月開催で計 **12回**

平均参加人数

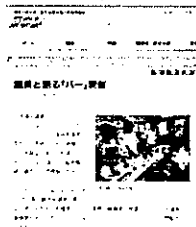
42人

市内

5ヶ所

議員 **17人**

市産 **500人**以上



まちのBARの会話ポリシー

対立ではなく、対話を。

批判ではなく、アイデアを。

分断ではなく、協力を。

千曲(ちくま)市長 小川修一(おがわ・しゅういち) with ハンマーバードさん

日本で一番、こどもの意見を聴いて応える、対話する市役所

住民(関係住民も含む)と行政(時には議会)との継続的な信頼関係を、データやファクトに基づく意思(輿論)を通じて構築する新しい住民参加・デジタルデモクラシー(EBPM 対応)の仕組み

いままでは聞こえなかった 10 代の住民である中学生から、一定の評価を受けています。

・「ポリネコ！」は、ポリティカルニーズコーディネーターの頭文字から名付けられた、住民参加システムです。

・回答時に、問われている事象の背景を学習する(クイズ形式で、回答しながら正解を学ぶことで、先入観や誤解を最小化)したり、自分の考えをタイプ判定の形式で、確認できることで、データや事実に基づいた考えた上での意思表示(輿論)を行うことができます。

岐阜県若者の選挙意識を高める会 Novolt(ノボルト)さん

小学生が「権力の監視」を考える大学生・学校・選管・大学がコラボした授業設計・実施・検証

活動目的: 社会科教育を学ぶ教育学部生の立場から「選挙に行こう」ではなく、「政治を考える・政治と関わる」児童・生徒の育成に貢献する

主な活動内容:

岐阜市の長良東小学校での「選挙について考えてみよう！」出前授業実践

衆院選・参院選・県知事選・市議選の際の公約分析会

岐阜県・岐阜市選挙管理委員会とのコラボ教材検討会

選挙の際の投票立会人・選挙管理人の参加

得られた成果(児童の声)

＊なんとなくではなく、公約をしっかりとみたり、他の人と話し合ったりして、
考えたうえで選挙に行くことが大切だと思った。

＊1 回目の投票と議論して考えた上での 2 回目の投票とでは、1 票の重み
が全然違った。児童が選挙について関心をもち、政治について考えるという主権者教育の目標の達成

パブリックコメント普及協会さん

パブコメはたのしい！一対話型パブコメを全国へ

取組みのポイント

＊対話型パブコメは、形骸化しがちなパブコメを市民参加のツールとして最大限活用する

＊審議会委員から市民グループを発足、市民と行政の架け橋に

＊ターゲットはサイレントマジョリティ

＊対話の市民参加は「たのしい！」私たちも、職員も

＊職員のための対話型パブコメに発展

「対話型パブコメを全国にひろげたい！」

ローカル・マニフェスト部門

戸田市長 菅原 文仁(すがわら・ふみひと)さん

命とくらしを守る公約で、市民の「このまちで良かった」を実現 本市の目指す将来都市像＝私の目指す理想の戸田

『このまちで良かった』みんな輝く 未来共創のまち とだ

千葉県知事 熊谷 俊人(くまがい・としひと)さん

～千葉の未来を切り開く～「まち」「海・緑」「ひと」がきらめく千葉の実現

1. マニフェスト「県政ビジョン」と県総合計画の策定
2. 政策の実行

③. 政策の推進体制と評価・検証

- (1) 総合計画を支える財政と組織
- (2) PDCAサイクルに基づく「政策評価」(毎年度実施)

諏訪市長 金子 ゆかりさん

コンパクトシティー化計画と同時並行で進める小中学校の再編と人口減少時代に対する市民理解の推進

未来創造ゆめスクールプラン

＊将来的に諏訪市内 7 小学校 4 中学校を 3 校の小中一貫校へ再編

大府(おおぶ)市長 岡村 秀人(おかむら・ひでと)さん

今を超える一改善改革一

「知は現場にあり。」徹底した現場主義によるマニフェストの推進

市民生活や企業活動の「現場」に足を運び、一人ひとりの声に耳を傾ける。

最も重要な行政の担い手は住民に最も身近な基礎自治体である市町村であると考えています。

『知は、現場にあり。』の理念のもと、現場を熟知する全国の市町村が互いに切磋琢磨しながら、地域の特性を生かした行財政運営を行うことで、国に活力と多様性をもたらし、国の発展に寄与していく姿が、新たな時代の「この国のかたち」と信じています。

松江市長 上定 昭仁さん

みんなに身近で親しみやすい総合計画『MATSUE DREAMS 2030』

松江にしかない強み、私たちの「あたりまえ」のなかにあるもの

1. みんなに身近で親しみやすい総合計画手に取ってもらえるよう工夫しました

2. 市民目線のマニフェスト

3. KPI・審議会による評価と市民とのキャッチボール

アフターフォローに力点を置いています。

4.① マニフェスト『日本が誇る「環境主都まつえ」』の実現

4.②『ここに生まれてよかった ここで育ててよかった』の実現

北上市議会 北上まほろばクラブさん

無投票回避大作戦！～新人候補者の「発掘・育成・支援」～

よこはま自民党(自由民主党横浜市支部連合会・自由民主党横浜市会議員団)さん

よこはま自民党ローカルマニフェストで市民と約束した『こども条例』の制定とその後

中央区議会議員 高橋 まきこ さん

区民の涙から生まれたマニフェスト「一時預かり保育のオンライン予約」政策実現までの10年間

「保活座談会」地域コミュニティ活動安心して本音を言える場所 2014年から活動をスタート

所感:今回もマニフェスト大賞に3000件を超える応募から、選ばれた41施策いろいろなものがありました。今回も茅ヶ崎市民が提出したものが選ばれており、先進事例として紹介を頂きました。

議会として、チーム茅ヶ崎議会として今後、何が必要なのか、どうしたら出来るのか、出来ることからコツコツと積み上げていかなければいけないと実感しました。市民の声を、中学生、高校生の声を取り込めるように心がけチーム議会として取り組みたいと思いました。

それと今回も、運営に関わらせてもらい、一部進行をさせて頂きました。

より皆さんに理解いただけるよう努力するためにも深く政策を読み込み、努力しました。



トップランナーに学ぶ 受賞事例研修会

日本最大の政策コンテスト「マニフェスト大賞」受賞者によるプレゼンテーション

2024.11.14^木 10:30~16:30

会場：株式会社メディアドゥ セミナールーム/オンライン (zoom)

今すぐ申し込む

お知らせ

[2024.10.24]

会場参加の受付を終了しました（満員御礼）。オンラインでのご参加はお申し込み受付中です（11月7日正午締切）。

民主主義を支える改革のトップランナーたちによる 取り組みを一挙に学べる充実の6時間

「日本最大の政策コンテスト」マニフェスト大賞で、今年優秀賞を受賞した全国のトップランナーが、最新の取り組み事例を発表！

首長、議員・会派、市民・団体、議会など、民主主義を支える改革のトップランナーたちによる最新の取り組みを、一挙に学べる機会です。学び合いの中から善い取り組みを自身でも取り入れ、マニフェスト大賞が目指す「善政競争（善い政治の競争）」の輪をともに広げましょう。

皆様のご参加をお待ちしております。

↑



今すぐ申し込む

充実のプレゼンテーション（予定）

ローカル・マニフェスト部門

- ・ 命とくらしを守る公約で、市民の「このまちで良かった」を実現（戸田市長 菅原文仁）
- ・ ～千葉の未来を切り開く～「まち」「海・緑」「ひと」がきらめく千葉の実現（千葉県知事 熊谷 俊人）
- ・ コンパクトシティー化計画と同時並行で進める小中学校の再編と人口減少時代に対する市民理解の推進（諏訪市長 金子 ゆかり）
- ・ 「知は、現場にあり。」徹底した現場主義によるマニフェストの推進（大府市長 岡村 秀人）
- ・ 誰にも身近な総合計画『MATSUE DREAMS 2030』（松江市長 上定 昭仁）
- ・ 無投票回避大作戦！～新人候補者の「発掘・育成・支援」～（北上市議会 北上まほろばクラブ）
- ・ 区民の涙から生まれたマニフェスト「一時預かり保育のオンライン予約」政策実現までの10年間（中央区議会議員 高橋 まきこ）
- ・ よこはま自民党ローカルマニフェストで市民と約束した『こども条例』の制定（よこはま自民党（自自由民主党横浜市支部連合会・自由民主党横浜市会議員団））

シティズンシップ部門

議会改革部門

政策・まちづくり部門

参加者特典

- ✓ 先着者資料をメールでダウンロードできます
- ✓ アーカイブ動画を後日配信します
- ✓ 事例集（マニフェスト大賞記念冊子）をお渡しします
- ✓ 意見交換会あり



今すぐ申し込む

開催概要

日時

2024年11月14日（木）10時30分～16時30分（途中昼食休憩あり）
終了後意見交換会（希望制）

会場

・会場参加（定員70名様先着順）
株式会社メディアドゥ セミナールーム（MAP）
〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1パレスサイドビル 5F

・オンライン参加（定員無し）
zoomミーティングを使用します

参加費

議員・首長等：6,600円（税込）

出張旅費計算書

適 用	トップランナーに学ぶ受賞事例研修会に参加するため 東京都千代田区一ツ橋			会 派	ちがさき自民クラブ		
期 間	令和6年11月14日 1日			出張者 氏 名	岡崎 進		
経 路		日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額(円)
茅ヶ崎 — 新橋 JR東海道本線		1	—	56.7	990	—	990
新橋 — 日本橋 東京メトロ銀座線				2.3	180	—	180
日本橋 — 竹橋 東京メトロ東西線				1.8		—	
竹橋 — 日本橋 東京メトロ東西線			—	1.8	180	—	180
日本橋 — 新橋 東京メトロ銀座線				2.3		—	
新橋 — 茅ヶ崎 JR東海道本線				56.7	990	—	990
計		1	—	121.6	2,340	0	2,340
	日 数			単 価(円)		金 額(円)	
日 当	1日			2,400		2,400	
研修参加費	1日			6,600		6,600	
合 計	¥11,340 ×			1 人		¥11,340	

領収データ - トップランナーに学ぶ 受賞事例研修会(2024年11月14日@会場&オンライン)

発行日	2024年11月13日
宛名	ちがさき自民クラブ 岡崎進
合計	¥6,600
但し	研修会参加費
注文日	2024年10月21日
注文番号	27733342
主催者	ローカル・マニフェスト推進連盟 (ローカル・マニフェスト推進連盟)
イベント名	トップランナーに学ぶ 受賞事例研修会(2024年11月14日@会場&オンライン)

Peatix

印刷する

政務活動報告書

令和7年3月31日

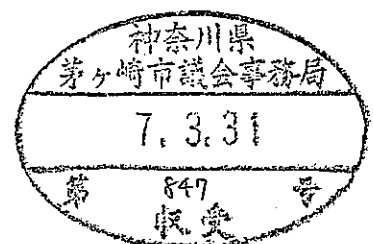
茅ヶ崎市議会議長
岸 正明 様

(会派名) ちがさき自民クラブ

(氏 名) 岡崎 進

政務活動の結果は、次のとおりでした。

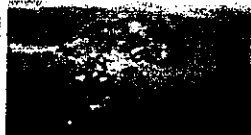
日 時	令和7年2月7日、2月8日
研 修 内 容 (研 修 地)	ローカル・マニフェスト推進連盟湘南勉強会in茅ヶ崎 (茅ヶ崎市民文化会館)
政務活動の結果 (別紙のとおり)	



小さな町の大きな再編プロジェクト
～真鶴町が挑む公共施設の最適化～

① 真鶴町長 小林 伸行

ローカル・マニフェスト推進連盟
湘南勉強会 in 茅ヶ崎
2025/2/8



1. 自己紹介

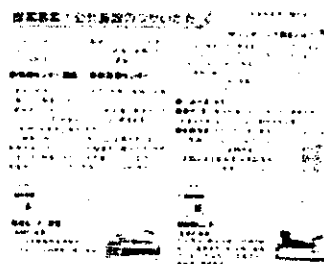
現在大企業を、地産地消と有機自然栽培の分野に携わる方、地産地消と有機の両方を得意とすることを目指す、国産食品探検隊を組織し、各地、全国探検隊の探検活動を通じて食文化の発展に貢献する。

上野市立高校へ入学し、心臓病撲滅を研究し、公共健康増進事業（PHA）を創設、食生活の改善に貢献し、アメリカ食品を並行輸入し、食生活を改善。2023年11月12日探検隊を農林省農研機構と提携。

この間、地方自治体の協力により、食の分野からエコノミクスと食文化の発展に貢献し、新居、ノースウエストに多数、全国の消費者にサービスとして提供し始める。NPOでサポートセンター A SEED JAPAN と提携活動、サポート。

4. 町長就任後の取組 (5)

• EISENBERG, J. L.
• 1955-1956
• 1957-1958
• 1959-1960
• 1961-1962



4. 町長就任後の取組（6）

• 公共施設利用者の安全確保



小林町長は、元横須賀市議会議員であり、真鶴町長に就任後、財政難や人口減少など、多くの課題に直面していること、神奈川県内で最も小さい町の１つであり、人口減少と高齢化が深刻、公共施設が過剰であり、財政を圧迫しているため、統廃合を進めていますが、町民からの反発も大きい状況です。そして広域連携、公民連携、町民連携を掲げていますが、現状は厳しい。公共施設の賃貸や指定管理者制度の導入を試みましたが、課題も多く、町民からの批判も受けており、町民との対話を重視し、公共施設の統廃合など、様々な課題に取り組んでいる。

所感:茅ヶ崎で行われたため、スタッフとしてもお手伝いをしたが、本来北川先生に基調講演をお願いしていたが、体調不良での急遽変更で、江藤先生をお願いした部分があるが、マニフェスト推進連盟を引退される前の最後となる予定でいたので、聞けなくて残念でした。

江藤先生からは、議会の中に住民参加を入れ込んでいく、一般質問だけではなく議員間討議を重視としっかり政策競争をという部分、もっと議員が力をつけないと厳しいというのが現状を痛感した。

二日目の河野代議士の話では、県国との連携をしつつ、独自性をもって自治体 DXを進めていく必要性を教えられた。そして開成町議長の話では、予算も人数も少ない中で、しっかり小中学生に対する議会の説明をし、議員発案で条例を制定、その上で、あたしたちよりも目立つ広報をしていることには脅かされた。もっともっと努力をしていく必要性を痛感させられた。

そのためにも、議員がもっと政策に精通出来るよう勉強をしていかなければならないと思い知らされた。

令和7年3月10日

茅ヶ崎市議会議長
岸 正明 様

ちがさき自民クラブ
氏 名 岡崎 進

令和7年2月7日8日2日間行われた、第19回マニフェスト大賞受賞事例研修会に参加しましたので、次のとおり報告します。

江藤俊昭大正大学教授基調講演

議会の中に住民参加を織り込んでいく、一般質問だけではなく議員間討議を重視していく、その上で、議会と首長が政策競争を行うことが必要で、議会の意思を示すことが大事。

議会改革については、議会基本条例を制定する動きが広がり本旨の起動のステージに移行した。

それぞれの議会において住民自治の根幹を作動させるよう求め、住民福祉の向上にしっかりつながっているのか成果を出すこととサジェストした。

さらに定例会ごとではなく、4年間で住民のために成果を出すことが大事、議会からの政策サイクルを回すことが重要だと示された。

これからは、住民・議員・首長の3者が議論する場を「議会が作る必要がある」と力説され、議員同士の横の繋がり的重要性にも触れ、議会が変われば、地域が変わる。そして国も変わると締めた。

茅ヶ崎市窓口 DXSaaS の導入

茅ヶ崎市は24年1月にデジタル庁が推進する「窓口 DXsaas」を導入し、市民が来庁時に、記入台で申請書類を書く必要がなく、職員とともに「書かない窓口システム」で必要事項を確認するだけで、各種手続きが完了する。説明者は「システムを入れたら改革が終わるわけではなく、毎年見直しを行いながら、少しずつ改善を行っている」とさらなる改革を目指している。書かない窓口の成果として申請書類の内容がデータとなってシステム上に残るようになったので、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)で、今まで紙の入力をしていた職員が別の業務をできるようになった。

茅ヶ崎市電子契約の導入

<令和3年度>

*初期検討段階

- ・ 主に市内事業者様向けの導入検討のオンライン説明会の開催
- ・ 主に市内事業者様の協力を得ながら、2社のサービスを利用し、実際の執行案件のダミー契約を実施

*庁内の合意形成、改正(変更)手続き

・ 関連する例規の改正、契約済み契約書データの格納方法の検討、書類の回付方法の確認、公印使用権限の変更、財務起案との整合性の調整 等→ 必要な変更手続き と「常識の打破」

*サービス提供事業者との契約手続き

・ 導入サービスの決定、操作マニュアルの作成

導入の経緯(2) <令和4年度>

*初期導入

・ 令和4年4月より契約検査課の執行案件より導入開始・

コスト削減

・ 令和4年4月の導入開始から累計約480万円のコスト削減に！

(通信運搬費、消耗品費、人件費の合計。本市独自試算。)

*リスクの低減

・ 管理リスクの低減(保存・回付)

・ 契約の確定の早期化

*受注者からの声

・ 「来庁や郵送の手間が激減した」、「テレワークでの業務遂行が可能になった」

・ 「印紙税の負担が大きく減った」→契約金額の大きい工事請負契約(関連の委託業務を含む)だけで、令和4年4月の導入開始から累計約1,100万円の印紙税負担の軽減になった

茅ヶ崎海岸浸食対策事業

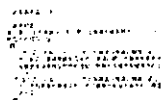
茅ヶ崎での海岸浸食に対応をしてきた経過を説明頂き、さらに現状も説明頂いた。

2日目の午後には、参加者の半数で現場の海岸を視察した。

こども選挙

こども基本法

全てのこどもについて、その年齢及び発達の程度に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会及び多様な社会的活動に参画する機会が確保されること。



こどもが選ぶ

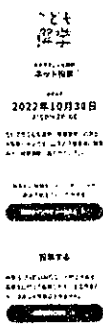
投票用紙と
ネット投票で
こどもが投票

策定して

こどもが選んだ
市長を賛成!

市人11ヶ所に投票所
ネット投票システム

566票



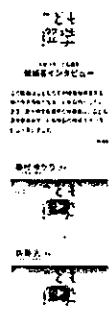
こどもが聞く

こどもが 候補者 町長と副町
質問をもらって が答えて で答える

15名のこども選挙委員

実際の候補者3人に質問

15名をWEB公開



1人の親としての会話からはじまり、
10人の有志で実行委員が結成され、
15名のこども選挙委員が仲間になり、
その親たちが想いを共有する同士になり、
60名のボランティアに広がり、
今や全国にその活動は広がっています。

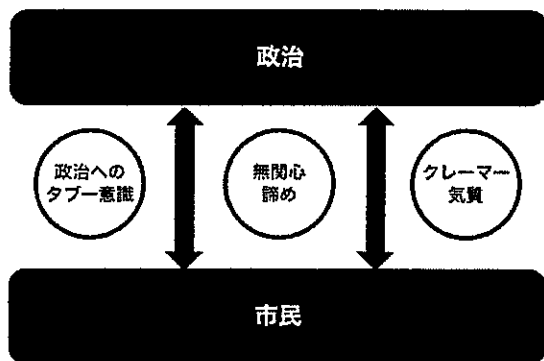
まちの BAR



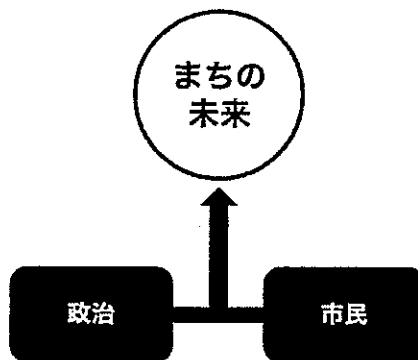
対立により、政治と市民に距離がある



一緒になって、まちの未来をつくっていく



※議会改革調査ランキングで、茅ヶ崎市は住民参画が低スコア。



まちのBARのポイント 1

市議がお酒をつくることで、
市民が構えることなく、
楽しくフラットな関係に。



成果

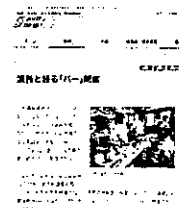
開始から1年でシティズンシップのムーブメントに。

こどもから大人まで毎回30人〜60人の市民と、3人〜8人の市議が参加してくれている。自民・立憲民主・革新・共産党・無所属などで、党や会派を超えて議論が参加。これまでに議員17人（総へ46人）、市民500人以上が参加。現場では互いの所々で様々なテーマについて議論され熱い議論を繰り返している。

毎月開催で計 **12回**

平均参加人数 市内 **42人** **5ヶ所**

議員 **17人** 市民 **500人** 以上



河野太郎前デジタル大臣

マイナンバーカードは、運転免許証をしのぎ、日本で最も流通する身分証明書となった。

今後は、マイナンバーカードの利用促進が重要となり、特に、電子証明書の更新が課題であり、郵便局での手続きを検討している。

マイナンバーカードと医療費の無償化などの受給権を統合することで、利便性を向上させる。マイナンバーカードの IC チップの空き容量を活用し、図書館の貸し出しや見守りサービスなど、様々なサービスを提供している自治体が増えており、出生届や給付金支給など、オンライン手続きの普及を推進している。

ガバメントクラウドへの移行を進め、システムの標準化とコスト削減を図ため、地方分権の名の下に、自治体ごとに異なるシステムや様式が存在することを問題視し、統一化を推進する。

情報システムの担当者不足を解消するため、都道府県によるサポート体制を構築する。

昨年大阪府四條畷市長選挙や市議補欠選挙で、タブレット端末を使った投票が行われた報告もし、今後はインターネット投票の実現を目指し、少しずつルールを変えていきたい。地元でもタブレット投票を行って欲しいとの声もありました。

開成町議会山本研一議長

「見せる＝魅せる」広報改革として、議会が住民とともにまちづくりを行う時代が到来している。

広報改革のその先へ

～政策条例制定・多様な議場利活用で議会の扉を開く～

開成町議会・開成町議会事務局

市長・町長だけにまちづくりを 任せる時代は終了

議会が住民とともにまちづくりを行う時代

執行者と議会が真剣にまちづくりを
考えなければ市や町は 少子高齢化に
歯止めがかからず 消滅していく

議会への関心・信頼を取り戻す

取り戻すには100年かかる

1985年以降
地方議会は「改革」を続けてきた
現在も「議会改革」が続いている

どのように政治(議会)の信頼と 関心を取り戻すか！

行政監視機能と政策立案機能の充実

「地道なこと」や
「国や県などの指示に頼らない」
独自の取組みを多岐に積み重ねる

独自の取組

町より先に条例を制定する
町より先に政策提案を行う

議会が変える
執行機関を唸らせる

開成町議会ハラスメント防止条例

条例制定に合わせ「指針」及び
「相談窓口」などを定めた
相談対応等スキームを制定

開成町議会ハラスメント防止条例(2017年)のハラスメント発生及び相談対応等スキーム

1. ハラスメントの発生

ハラスメント相談窓口
A. 町議会事務局
B. 町民センター

令和5年6月

開成町議会

開成町議会ハラスメント防止条例

わたしたちの「条例」とは何かを追求

本条例が想定するハラスメントの体系は

- ① 議員から議員へのハラスメント
- ② 議員から職員へのハラスメント
- ③ 職員から議員へのハラスメント

①及び②を守備範囲することは想定範囲内
本条例では、③の職員から議員へのハラスメントの
可能性も想定した作りとなっている

開成町議会ハラスメント防止条例

次は本条例を提案する際に最後に全議員の総意として話をした内容です

既に職員のハラスメントについては、「開成町職員のハラスメントの防止等に関する規則」が定められていますが、町民を含め、これらの者に係るハラスメントについては、議会が、というよりは、まずはその所管となる部署を有する町長側において、対応することになるものと考えます。
よって、本条例を一つの契機として、町においてもハラスメントについて一考していただけたら幸いであると申し添えまして、開成町議会ハラスメント防止条例を制定することについて、その提案の説明とさせていただきます。

町に先んじて条例を制定・町は規則止まりであるため条例化しよう示唆

議会発議の「ハラスメント防止条例の可決成立。ハラスメントの対象を「議員から議員」「議員から職員」だけではなく「職員から議員」も加え、女性や若者が安心して議員になれるという将来的には議員の成り手不足解消にもつながる条例だとの話も。

執行部に先んじてまちぐるみで読書を推進する「読書推進条例」発案、制定した。

議員間で相当に時間をかけ、読書をめぐるあらゆる事柄を検討し、「読書を通じて『心の居場所づくり』にも繋がらないかと、福祉の観点から条例を1条1条作り上げた。

開成町読書推進条例

【特徴】

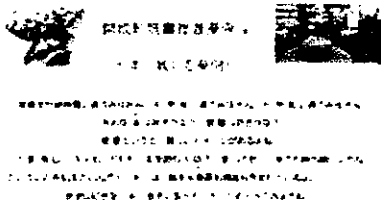
・毎年秋の10月を「町民の読書活動推進月間」とし、町は町民の読書活動の推進に向けて、読書活動推進月間の趣旨を広報し、及び周知啓発するとともに、全ての町民が読書活動に取り組む環境づくりを推進

・開成町子ども読書活動推進計画の中では、毎月1日を「ファミリー読書デー」としているが、本条例では、対象を全町民に広げ、毎月1日を「町民読書デー」とした

開成町読書推進条例

【特徴】

読書活動の推進に当たっては、町民、家庭、学校等及び地域が連携を図り、一体となって読書活動に取り組むことを規定



独自の取組

議場の利活用で 住民とのコミュニケーション

地道でも草の根 作戦を展開

開成町議会だからできる
取組

議場の利活用について

議場を町立小学校及び中学校の授業等のための
使用に関する要綱を整備し 自由に学習の場として開放



開成町議会だからできる
取組

議場の利活用について

夏季における議場を自習室として一般開放を実施

自習室は、「勉強したい、何かに
集中したい、居場所としたい」場所
自習室は、中学生以上であれば
全国だれでも利用可能



議場のイスや机の感覚などの記憶が残ってもらえることが目的
「マイクを壊される」など考える暇はない！
議場は議員のものではない！

独自の取組

議会広報で住民と コミュニケーション ～広報紙とウェブサイトの両輪～

短い動画で 議会活動を瞬時に発信 ～真のデジタル化～

開成町議会だからできる
取組

小学校への出前授業

児童と対面で「議会」とは何か
ざっくばらんに話し合い 質疑する＝それが「出前授業」
議員が動かなければ信頼は取り戻せない！
関心は持たれない！

児童との何気ない会話から
まちづくりが変わる
児童は自分たちが
まちづくりに参加する・
参加できるという
未来に期待を持つことが可能



トップ
ページ

毎月変わる インパクトのあるトップページムービー



議場を住民に開放し、自習室や出前授業などを実施することで、議会への関心を高めるため、議会広報に動画を活用し、議会の活動を分かりやすく発信する。

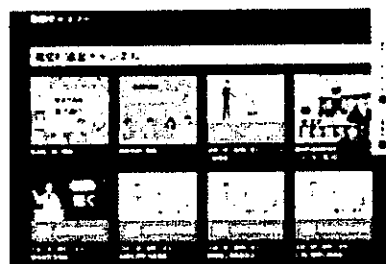
広報改革を最大のツールとして、議会の関心と信頼を取り戻すことを目指す。

議員紹介
ページ

クリックすると議員が動き、
議員自ら話し出す自己紹介ムービー

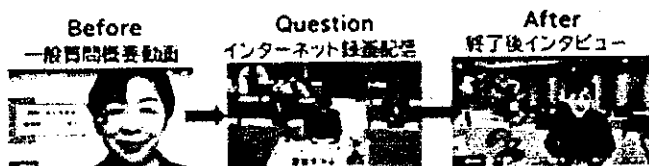


委員会紹介ムービー
委員会報告を短い動画で配信



一般質問
ページ

Before(予備)⇒Question(本番)⇒After(終了直後)形式で
日本一短く動画で説明【若い世代に20秒で関心を引き出す】



日曜議会

平成17年度から毎年開催
市民は日本から無料で視聴サービス開始



議会報告会・意見交換会



議会映像(ライブ・録画)
インターネット配信



一般質問の
字幕を付し
て配信

議会ICT化の推進

議員・市民の双方向の意見交換を実現し、議会への
参加を促進し、透明性を高める。オンラインで議決を行う。

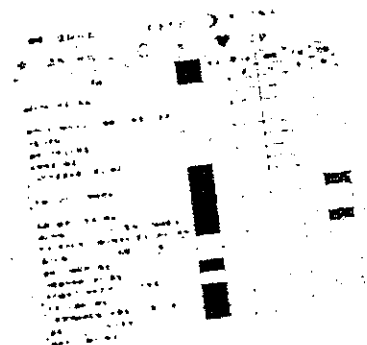


広報改革のその先へ

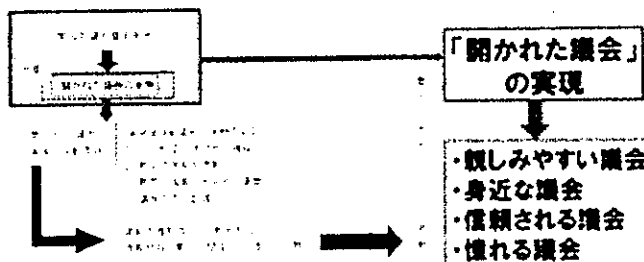
～政策条例制定・多様な議場利活用で議会の扉を開く～

「わたしたちのまち」は
議会から変える覚悟が必要

【今後】
広報と連動した
アクションは
開成町議会
基本条例に
基づく
体系で整理



広報と連動した様々なアクション(取組)は
開成町議会基本条例に基づく体系で整理

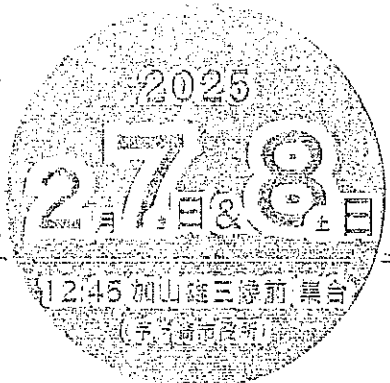
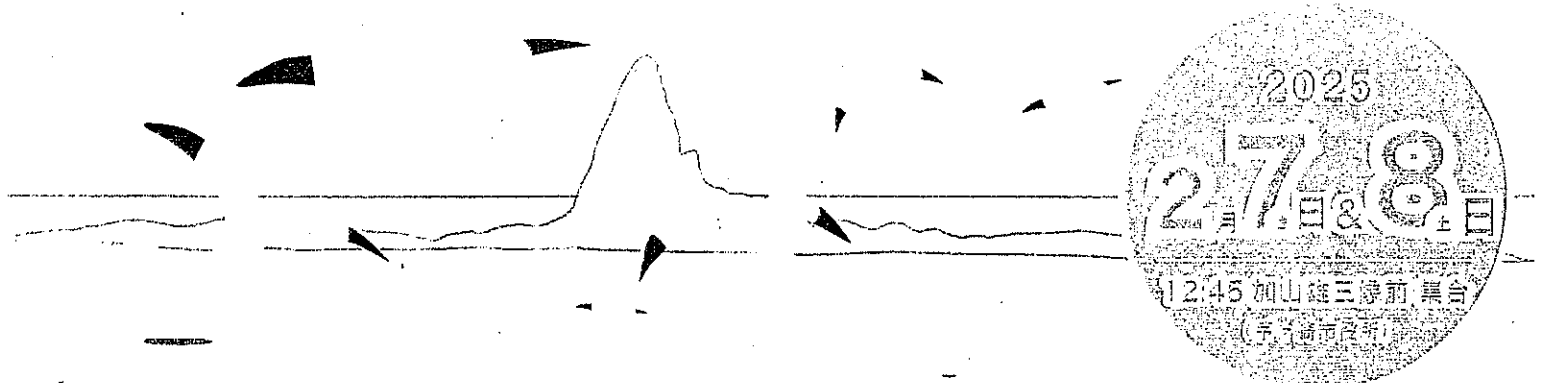


全ては町民のために 町民とともに

「広報改革から INITIATIVE
(戦略的な取組み)へ

「広報を最大のツールとして多岐にわたる議会の
取組みと連動したアクションとして展開

議会への関心・信頼を取り戻す



ローカル・マニフェスト推進連盟 茅ヶ崎 湘南勉強会 in 茅ヶ崎

海、環境、 そしてデジタル行政 地方自治の新たな可能性と市民力

現地視察やマニフェスト大賞優秀賞事例発表など、豊富なプログラムをご用意しています。
今年マニフェスト大賞審査委員会特別賞（シティズンシップ部門）を受賞した「まちのBAR」の体験
ツアー（要別途お申し込み）もございます。茅ヶ崎の地での先進事例の学び合いにぜひご参加ください。

1日目 (12:45-17:00)

12:45
集合
加山雄三像前
(茅ヶ崎市役所)

13:00-13:15
議場見学
茅ヶ崎市議会

現地視察 13:25-13:40
神奈川県内第1号！
自治体窓口DXSaaS
「書かない窓口」の運用
茅ヶ崎市役所
本庁舎1階フロア

研修会開始 14:00
会挨拶
ローカル・マニフェスト推進連盟事務局
川上 文浩

基調講演 14:10-14:40
地方議会から地域を変え、
茅ヶ崎から日本を変える
早稲田大学名誉教授
早稲田大学マニフェスト研究所所長
北川 正恭

事例発表 (1) 14:40-15:20
「茅ヶ崎市の自治体DXの
取り組みについて」
～書かない窓口・電子契約書～
発表者調整中

事例発表 (2) 15:20-16:00
「茅ヶ崎海岸侵食対策事業」
～環境に配慮した
養浜事業について～
発表者調整中

事例発表 (3) 16:10-16:30
「ちがさきこども選挙」
～こどもの、こどもによる、
こどものための選挙。～
発表者調整中

事例発表 (4) 16:30-16:50
「まちのBAR」
～もしも市議が、
BARのマスターになったら？～
発表者調整中

先着 20名様 1日目終了後 まちのBAR 体験開催
時間 2月7日 (金) 18:00-19:30 (自他)
参加費 ¥2,200円 (税込)
※フンドリンク・ワンプレート付
会場 茅ヶ崎カフェ (茅ヶ崎市役所本庁舎隣)

2日目 (09:00-12:00)

特別講演 09:00-09:40
自治体DXの展望について
(前)
元デジタル大臣
衆議院議員
河野 太郎

事例発表 (5) 09:40-09:55
「藤沢型政策検討会議」
～究極の議員間討議を実現！～
藤沢市議会議員
有賀 正義

事例発表 (6) 09:55-10:10
広報改革のその先へ
～議会発議の政策条例制定・
多様な議場利活用で議会の扉を開く～
開成町議会
発表者調整中

事例発表 (7) 10:10-10:25
「小さな町の大きな再編プロジェクト」
～真鶴町が進む公共施設の最適化～
真鶴町長
小林 伸行

事例発表 (8) 10:35-10:50
「よこはま自民党ローカルマニフェストで
市民と約束した「こども条例」の制定・その後」
横浜市長
黒川 勝

パネルディスカッション 10:50-12:00
「神奈川発！相模湾の海岸美化活動」
～日本で唯一、県内全域の自然海岸美化専門体制を確立～
県(公財)かながわ海岸美化財団 代表理事・大連町環境政策担当等
松浦 治美
ほか調整中

●説明後、現地説明を受けるためサザン通りを経て、茅ヶ崎海岸へ
徒歩移動します。(25分程度)
●その後、シーサイドランチを経て、茅ヶ崎海岸で解散予定

日時	2025年2月7日(金) 12:45～17:00 8日(土) 09:00～12:00
会場	集合場所 加山雄三像前(茅ヶ崎市役所) 研修会場 茅ヶ崎市民文化会館4階大会議室
参加費	議員 ¥6,000(税込) 自治体職員・市民 ¥3,000(税込) 学生無料 いずれも2日間合計の金額です
定員	先着80名様 会場のみ。オンライン配信ございません

申込 2025年2月6日(木)正午の申込期日までに
ウェブサイト(右下QR)より <https://2025020708.peatix.com/>
議会事務で取りまとめていただく場合、請求書払いが可能です。別途お問い合わせください。

注意事項

- 事前お申し込みと決済が必要です。当日のお支払いはできません。
- 領収書はデータをPeatixから各自ダウンロードをお願いします。
- チケットのキャンセル返金手続きについてはウェブサイトの記載をご確認ください。直前のキャンセルはご遠慮ください。
- まちのBAR体験に参加する場合は別途お申し込みが必要です。ウェブサイトの記載をご確認ください。

問合せ ローカル・マニフェスト推進連盟事務局
早稲田大学マニフェスト研究所内
電話: 03-6709-6739
メール: mani@maniken.jp



出張旅費計算書

適用	ローカル・マニフェスト推進 連盟湘南勉強会in茅ヶ崎		会派	ちがさき自民クラブ			
期間	令和7年2月7日 令和7年2月8日 2日		出張者 氏名	岡崎進			
経路		日数	泊数	キロ数	運賃(円)	急行料金(円)	金額(円)
茅ヶ崎市民文化会館 徒歩		1	—	0.0	0	—	0
茅ヶ崎市民文化会館 徒歩		1		0.0	0	—	0
計		2	—	0.0	0	0	0
	日数		単価(円)		金額(円)		
日当	2		0		0		
参加費	1		6,000		6,000		
合計	¥6,000		× 1人		¥6,000		

領収データ - 2025年02月07日（金）・08日（土）湘南勉強会in茅ヶ崎「海、環境、そしてデジタル行政： 地方自治の新たな可能性と市民力」

発行日	2025年5月15日	再発行
宛名	ちがさき自民クラブ	
合計	¥6,000	
但し	研修費として	
注文日	2025年1月10日	
注文番号	28738926	
主催者	ローカル・マニフェスト推進連盟 (ローカル・マニフェスト推進連盟)	
イベント名	2025年02月07日（金）・08日（土）湘南勉強会in茅ヶ崎「海、環境、そしてデジタル行政： 地方自治の新たな可能性と市民力」	

